令和６年(2024年)
全 国 災 害 時 気 象 概 況

令和７年７月

気　象　庁

――― 目 次 ―――

1 令和6年(2024年)の気象災害 1

1-1 気象の特徴 1

1-2 主な気象災害 2

資料1-2-1 主な気象災害に対応する気象資料 14

資料1-2-2 令和6年(2024年)に発生した主な竜巻等の突風 33

2 令和6年(2024年) 台風の概要 34

2-1 令和6年(2024年)に発生した台風 34

資料2-1-1 台風発生数一覧表 35

資料2-1-2 日本への台風接近数一覧表 36

資料2-1-3 北海道・本州・四国・九州への台風接近数一覧表 37

資料2-1-4 日本への台風上陸数一覧表 38

資料2-1-5 令和6年(2024年)に発生した台風の一覧表 39

2-2 令和6年(2024年)に日本に影響した主な台風 40

資料2-2-1 令和6年(2024年)に日本に影響した台風の概要表 43

資料2-2-2 令和6年(2024年)に発生した台風の経路図 44

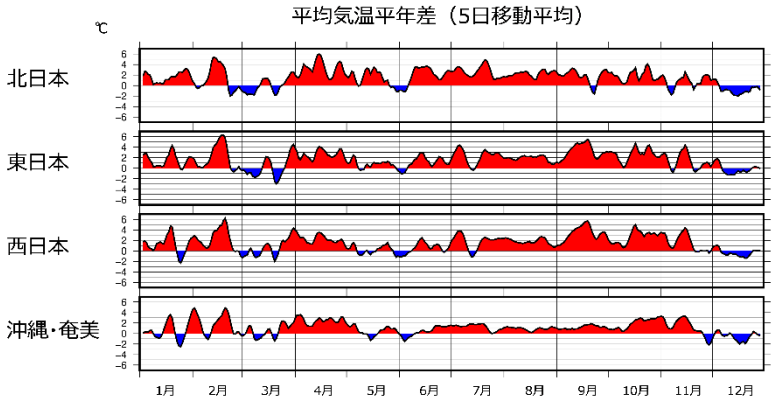
本資料は、人的被害や社会活動に大きな影響のあった主な気象災害の概況や台風などについて、気象庁大気海洋部において取りまとめたものである。

1　令和 6 年（2024 年）の気象災害

1-1　気象の特徴

○ 年平均気温は全国的にかなり高く、特に東・西日本と沖縄・奄美で記録的な高温となった。

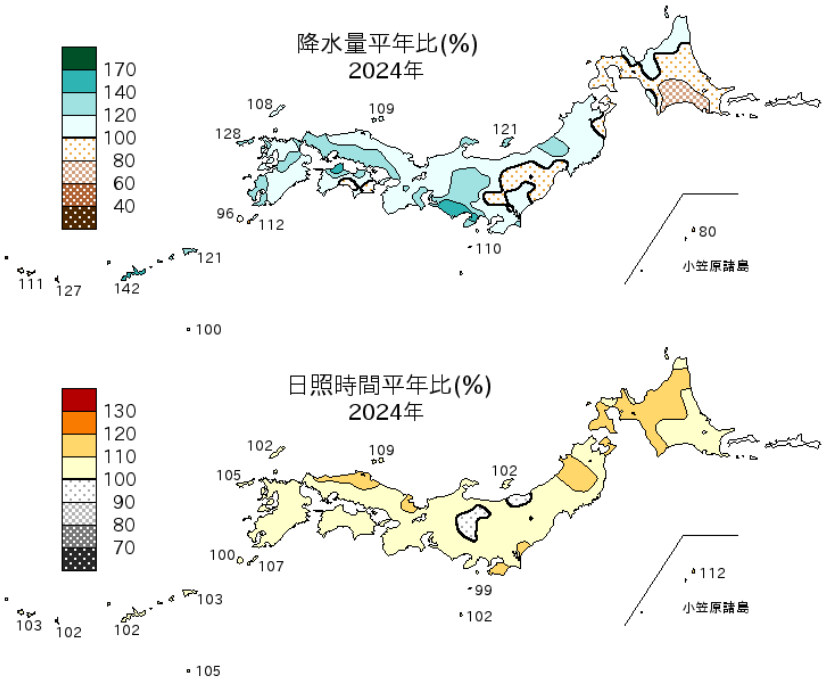
ほぼ年間を通じて暖かい空気に覆われて気温の高い状態が続き、年平均気温は全国的にかなり高かった。特に東・西日本と沖縄・奄美では年平均気温が 1 位、及び夏・秋の 2 季節連続で季節平均気温が 1 位の高温（タイ記録を含む）となった。全国 153 の気象台等のうち、夏は 80 地点（21 地点のタイ記録を含む）、秋は 120 地点（4 地点のタイ記録を含む）で、それぞれの季節の平均気温が歴代 1 位の高温となった。



平均気温平年差（5 日移動平均）、2024 年

○ 北日本はかなりの多照、東日本日本海側、東日本太平洋側と沖縄・奄美はかなりの多雨となった。

北日本を中心に高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったため、年間日照時間は北日本でかなり多かった。一方、東・西日本と沖縄・奄美を中心に前線や台風等の影響を受けやすい時期があったため、年降水量は東日本日本海側、東日本太平洋側、沖縄・奄美でかなり多かった。春と夏に降水量がかなり多かった東海地方では、1946 年の統計開始以降、年降水量が 1998 年と並んで 1 位タイの多雨となった。



降水量と日照時間の平年比、2024 年

1-2 主な気象災害

ここでは、令和 6 年(2024 年)に発生し、人的被害や社会活動に大きな影響があった主な気象災害の概況について、おおむね発生期日順に災害番号(括弧内番号)を付けて記述する。また、災害番号に続けて、災害期日:地域、( )内に災害の種別、< >内に気圧配置等の気象状況を記す。主な気象災害の一覧を表 1.1 に示す。

なお、被害の具体的な数値は、以下の情報を参考に記載した。

・内閣府、総務省消防庁、国土交通省による被害状況のとりまとめ資料
・国や都道府県の防災機関等から被害状況を入手し、気象庁でとりまとめた資料
・気象庁が行った突風の被害状況等調査報告

表 1.1 主な気象災害の一覧表

災害番号	災害をもたらした現象の期日	地域	災害の種別	気象状況
(1)	1 月 23 日～1 月 25 日	西日本 東日本 北日本	大雪、暴風雪、高波	冬型の気圧配置、低気圧
(2)	6 月 8 日～7 月 30 日	全国	大雨	梅雨前線
(3)	8 月 10 日～8 月 13 日	東北地方	大雨	台風第 5 号
(4)	8 月 26 日～9 月 1 日	西日本 東日本	大雨、暴風、高波、高潮、突風	台風第 10 号
(5)	9 月 20 日～9 月 22 日	北陸地方	大雨	低気圧と前線
(6)	11 月 8 日～11 月 10 日	沖縄・奄美	大雨	暖かく湿った空気

(1)1 月 23 日～1 月 25 日:西日本、東日本、北日本(大雪、暴風雪、高波)<冬型の気圧配置、低気圧>

1 月 23 日から 25 日にかけて、強い寒気が流れ込み、日本付近は強い冬型の気圧配置が続いた。北日本から西日本日本海側を中心に広い範囲で大雪となった。特に北陸地方や東海地方、近畿北部、山陰では、24 日に日本海から発達した雪雲が流れ込んで降雪が強まり、短時間に積雪が急激に増えた所があった。最大 6 時間降雪量は、24 日の日中に岐阜県関ケ原町で 49 センチ、滋賀県米原市では 40 センチとなるなど、福井県、岐阜県及び滋賀県では、観測史上 1 位の値を更新した地点があった。この他、発達した低気圧の影響で全国的に風が強まり、北日本では風速 25 メートル以上の非常に強い風を観測した所があり、北日本や北陸地方の海上では大しけとなった所があった。

この大雪により、近畿地方や東海地方を中心に鉄道の駅間停車や高速道路・一般道での車両の滞留が発生するなど、鉄道の運休、道路の通行止め、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。また、停電等のライフラインへの被害が発生した。(令和 6 年 1 月 25 日の内閣府とりまとめ等による)

[日降雪量 50 センチ以上を観測した主な地点(単位:センチ)]

1 月 24 日

岐阜県白川村白川(ｼﾗｶﾜ)	65	福島県檜枝岐村桧枝岐(ﾋﾉｴﾏﾀ)	64

滋賀県長浜市柳ケ瀬(ﾔﾅｶﾞｾ)	60	兵庫県香美町兎和野高原(ｳﾜﾉｺｳｹﾞﾝ)	59
鳥取県大山町大山(ﾀﾞｲｾﾝ)	53	滋賀県米原市米原(ﾏｲﾊﾞﾗ)	51
宮城県栗原市駒ノ湯(ｺﾏﾉﾕ)	51	北海道中頓別町中頓別(ﾅｶﾄﾝﾍﾞﾂ)	50
1 月 25 日			
北海道羅臼町羅臼(ﾗｳｽ)	67	山形県米沢市米沢(ﾖﾈｻﾞﾜ)	50

［最大風速 20 メートル以上を観測した主な地点（単位：メートル）］

1 月 23 日			
鹿児島県西之表市種子島(ﾀﾈｶﾞｼﾏ)	21.4	山形県酒田市飛島(ﾄﾋﾞｼﾏ)	21.2
1 月 24 日			
山形県酒田市飛島(ﾄﾋﾞｼﾏ)	24.0	鹿児島県西之表市種子島(ﾀﾈｶﾞｼﾏ)	21.5
北海道稚内市宗谷岬(ｿｳﾔﾐｻｷ)	21.3	秋田県八峰町八森(ﾊﾁﾓﾘ)	20.7
1 月 25 日			
北海道えりも町えりも岬(ｴﾘﾓﾐｻｷ)	27.3	北海道稚内市宗谷岬(ｿｳﾔﾐｻｷ)	21.8
山形県酒田市飛島(ﾄﾋﾞｼﾏ)	20.8		

(2)6 月 8 日～7 月 30 日：全国（大雨）＜梅雨前線＞

6 月 8 日から 7 月 30 日にかけて、梅雨前線が本州付近に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、断続的に前線の活動が活発となった。特に、7 月 24 日から 27 日は、東北地方の日本海側を中心に大気の状態が非常に不安定となり、期間総降水量は山形県の庄内や最上を中心に 400 ミリを超え、平年の 7 月の月降水量を大きく上回った所があったほか、複数の地点で 24 時間降水量や 72 時間降水量などの値が観測史上 1 位を更新するなど、記録的な大雨となった。

これら大雨の影響で、土砂災害、河川の増水や氾濫、浸水害等が発生し、人的被害や住家被害が発生した。また、停電、断水、電話の不通等のライフラインへの被害が発生したほか、道路の通行止め、鉄道の運休、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。（被害の状況は令和 6 年 6 月 18 日、6 月 23 日及び 8 月 8 日の内閣府とりまとめ等による）

6 月 8 日から 6 月 16 日

6 月 8 日から 16 日は、沖縄地方や九州南部・奄美地方に梅雨前線が停滞したほか、前線上の低気圧が周期的に九州付近から本州の南岸を東へ進んだ。この影響で沖縄地方や西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に雨となり、四国地方の多い所では日降水量が 300 ミリを超え、奄美地方の多い所では 200 ミリを超えたほか、沖縄地方、九州南部や九州北部地方の多い所では 100 ミリを超える大雨となった。

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

6 月 9 日			
高知県土佐清水市清水(ｼﾐｽﾞ)	340.5	大分県佐伯市蒲江(ｶﾏｴ)	170.0
鹿児島県肝付町内之浦(ｳﾁﾉｳﾗ)	136.0	徳島県海陽町海陽(ｶｲﾖｳ)	106.0
6 月 11 日			
沖縄県南城市糸数(ｲﾄｶｽﾞ)	197.5	鹿児島県伊仙町伊仙(ｲｾﾝ)	145.0
沖縄県石垣市石垣島(ｲｼｶﾞｷｼﾞﾏ)	122.0		
6 月 12 日			
沖縄県本部町本部(ﾓﾄﾌﾞ)	171.0	鹿児島県瀬戸内町古仁屋(ｺﾆﾔ)	165.5
6 月 13 日			
沖縄県渡嘉敷村渡嘉敷(ﾄｶｼｷ)	102.0		

6 月 14 日

沖縄県那覇市那覇(ﾅﾊ)	189.5		

6 月 15 日

鹿児島県伊仙町伊仙(ｲｾﾝ)	251.5	沖縄県名護市名護(ﾅｺﾞ)	129.5

6 月 17 日から 6 月 19 日

6 月 17 日から 19 日は、沖縄地方や九州南部・奄美地方に梅雨前線が停滞したほか、前線上の低気圧が西日本から東日本にかけての太平洋側を発達しながら東へ進んだ。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となった。この影響で沖縄地方や西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に雨となり、東海地方の多い所では日降水量が 300 ミリを超え、関東甲信地方の多い所では 200 ミリを超えたほか、沖縄地方、九州南部、四国地方や近畿地方の多い所では 100 ミリを超える大雨となった。

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

6 月 17 日

鹿児島県屋久島町屋久島(ﾔｸｼﾏ)	174.0	沖縄県久米島町久米島(ｸﾒｼﾞﾏ)	153.0
宮崎県えびの市えびの高原(ｴﾋﾞﾉｺｳｹﾞﾝ)	103.0		

6 月 18 日

静岡県伊豆市天城山(ｱﾏｷﾞｻﾝ)	320.0	東京都利島村利島(ﾄｼﾏ)	258.0
神奈川県箱根町箱根(ﾊｺﾈ)	200.0	高知県馬路村魚梁瀬(ﾔﾅｾ)	198.0
沖縄県久米島町久米島(ｸﾒｼﾞﾏ)	195.0	和歌山県田辺市護摩壇山(ｺﾞﾏﾀﾞﾝｻﾞﾝ)	187.0
徳島県那賀町木頭(ｷﾄｳ)	187.0	奈良県十津川村葛川(ｸｽﾞｶﾜ)	160.5
山梨県山中湖村山中(ﾔﾏﾅｶ)	142.5	三重県御浜町御浜(ﾐﾊﾏ)	138.5
千葉県館山市館山(ﾀﾃﾔﾏ)	137.0	宮崎県えびの市えびの高原(ｴﾋﾞﾉｺｳｹﾞﾝ)	128.0
愛媛県今治市玉川(ﾀﾏｶﾞﾜ)	121.5	大阪府東大阪市生駒山(ｲｺﾏﾔﾏ)	100.5

6 月 20 日から 6 月 24 日

6 月 20 日から 24 日は、前線が西日本から東日本に停滞したほか、20 日から 21 日は、前線上の低気圧が九州付近を通過して本州の南岸を東へ進み、22 日から 24 日は、前線上の低気圧が黄海から日本海へ進んだ。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となった。この影響で西日本から北日本にかけて広い範囲で雨となり、鹿児島県（奄美地方を除く）では線状降水帯が発生した。九州南部の多い所では日降水量が 300 ミリを超え、東海地方や関東甲信地方の多い所では 200 ミリを超えたほか、九州北部地方、中国地方、近畿地方、北陸地方や北海道地方の多い所では 100 ミリを超える大雨となった。

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

6 月 20 日

鹿児島県指宿市指宿(ｲﾌﾞｽｷ)	316.5	熊本県人吉市人吉(ﾋﾄﾖｼ)	197.0
宮崎県小林市小林(ｺﾊﾞﾔｼ)	193.0	長崎県雲仙市雲仙岳(ｳﾝｾﾞﾝﾀﾞｹ)	150.5

6 月 21 日

鹿児島県枕崎市枕崎(ﾏｸﾗｻﾞｷ)	160.5	東京都新島村新島(ﾆｲｼﾞﾏ)	119.5
和歌山県串本町潮岬(ｼｵﾉﾐｻｷ)	111.0	静岡県御前崎市御前崎(ｵﾏｴｻﾞｷ)	102.5

6 月 22 日

宮崎県都城市都城(ﾐﾔｺﾉｼﾞｮｳ)	154.0	島根県隠岐の島町西郷(ｻｲｺﾞｳ)	109.0

6 月 23 日

長野県王滝村御嶽山(ｵﾝﾀｹｻﾝ)	242.5	岐阜県郡上市ひるがの(ﾋﾙｶﾞﾉ)	231.5
福井県大野市九頭竜(ｸｽﾞﾘｭｳ)	197.5	石川県白山市白山白峰(ﾊｸｻﾝｼﾗﾐﾈ)	168.5

鳥取県大山町大山(ﾀﾞｲｾﾝ)	135.5	富山県魚津市魚津(ｳｵﾂﾞ)	133.5
広島県北広島町八幡(ﾔﾜﾀ)	114.0	島根県大田市大田(ｵｵﾀﾞ)	103.5
静岡県葵区井川(ｲｶﾜ)	102.0	滋賀県長浜市柳ケ瀬(ﾔﾅｶﾞｾ)	100.5

6 月 24 日

宮崎県えびの市えびの高原(ｴﾋﾞﾉｺｳｹﾞﾝ)	217.5	鹿児島県さつま町紫尾山(ｼﾋﾞｻﾝ)	147.5
北海道登別市登別(ﾉﾎﾞﾘﾍﾞﾂ)	103.5		

6 月 25 日から 6 月 26 日

6 月 25 日から 26 日は、前線が本州の南岸に停滞したほか、低気圧や気圧の谷の影響で、東北地方では日降水量が 100 ミリを超える大雨となった所があった。

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

6 月 25 日

山形県酒田市酒田大沢(ｻｶﾀｵｵｻﾜ)	105.5

6 月 27 日から 6 月 28 日

6 月 27 日から 28 日は、前線が西日本付近に停滞したほか、前線上の低気圧が西日本から東日本にかけての日本海側を東へ進み、東日本を通過して日本の東へ進んだ。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となった。この影響で西日本から北日本にかけての広い範囲で雨となり、静岡県では線状降水帯が発生した。東海地方や関東甲信地方の多い所では日降水量が 200 ミリを超えたほか、九州南部、九州北部地方、四国地方や近畿地方の多い所では 100 ミリを超える大雨となった。

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

6 月 27 日

鹿児島県鹿児島市喜入(ｷｲﾚ)	176.5	長崎県諫早市諫早(ｲｻﾊﾔ)	110.0

6 月 28 日

静岡県藤枝市高根山(ﾀｶﾈｻﾝ)	247.0	長野県南木曽町南木曽(ﾅｷﾞｿ)	217.0
神奈川県箱根町箱根(ﾊｺﾈ)	214.0	長崎県雲仙市雲仙岳(ｳﾝｾﾞﾝﾀﾞｹ)	186.0
和歌山県田辺市護摩壇山(ｺﾞﾏﾀﾞﾝｻﾞﾝ)	181.5	熊本県阿蘇市阿蘇乙姫(ｱｿｵﾄﾋﾒ)	178.0
愛媛県内子町獅子越峠(ｼｼｺﾞｴﾄｳｹﾞ)	143.5	鹿児島県南大隅町佐多(ｻﾀ)	140.0
高知県香美市繁藤(ｼｹﾞﾄｳ)	136.5	宮崎県えびの市えびの高原(ｴﾋﾞﾉｺｳｹﾞﾝ)	127.5
岐阜県八百津町伽藍(ｶﾞﾗﾝ)	126.0	山梨県南部町南部(ﾅﾝﾌﾞ)	116.0
滋賀県大津市大津(ｵｵﾂ)	112.0	愛知県新城市新城(ｼﾝｼﾛ)	111.0
大阪府田尻町関空島(ｶﾝｸｳｼﾞﾏ)	111.0	東京都大田区羽田(ﾊﾈﾀﾞ)	104.0

6 月 29 日から 7 月 3 日

6 月 29 日から 7 月 3 日は、前線が北上し、前線上の低気圧が日本海を東北東へ進み、北日本を通過した。その後、前線は南下し本州付近に停滞した。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となった。西日本から北日本にかけての広い範囲で雨となり、九州北部地方の多い所では日降水量が 200 ミリを超えたほか、九州南部、中国地方、近畿地方、関東甲信地方や東北地方の多い所では 100 ミリを超える大雨となった。

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

6 月 29 日

鹿児島県南大隅町佐多(ｻﾀ)	129.5	長崎県対馬市厳原(ｲﾂﾞﾊﾗ)	103.5

6 月 30 日

秋田県仙北市桧木内(ヒノキナイ)	161.5	長野県王滝村御嶽山(オンタケサン)	142.5
福岡県柳川市柳川(ヤナガワ)	136.5	岐阜県郡上市ひるがの	135.5
大分県日田市椿ヶ鼻(ツバキガハナ)	129.0	長崎県対馬市鰐浦(ワニウラ)	112.5
岩手県西和賀町沢内(サワウチ)	105.5	熊本県多良木町多良木(タラギ)	104.0

7 月 1 日

大分県日田市日田(ヒタ)	206.5	福岡県八女市黒木(クロキ)	194.0
山口県周南市鹿野(カノ)	168.5	熊本県山都町山都(ヤマト)	153.5
和歌山県田辺市護摩壇山(ゴマダンザン)	141.0	長野県王滝村御嶽山(オンタケサン)	134.5
佐賀県嬉野市嬉野(ウレシノ)	131.0	宮崎県えびの市加久藤(カクトウ)	123.0
広島県廿日市市廿日市津田(ハツカイチツタ)	122.5	愛媛県久万高原町久万(クマ)	110.5
滋賀県高島市朽木平良(クツキヘラ)	109.0	長崎県佐世保市佐世保(サセボ)	106.5
岐阜県下呂市萩原(ハギワラ)	103.5		

7 月 2 日

山口県下関市下関(シモノセキ)	103.5

7 月 4 日から 7 月 17 日

7 月 4 日から 6 日は、前線が北上し活動が弱まり不明瞭となったが、低気圧や気圧の谷の影響で東日本から北日本を中心に雨となった所があった。7 月 7 日から 11 日は、前線上の低気圧が周期的に日本海を東へ進んで東北地方を通過し、前線が東北地方から南下し本州の南岸に停滞した。12 日から 13 日は、前線上の低気圧が九州付近を通過し本州の南岸を東へ進んだ。14 日から 17 日は、前線が西日本から東日本に停滞した。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となった。西日本から北日本にかけての広い範囲で雨となり、長崎県では線状降水帯が発生した。九州南部、九州北部地方や中国地方の多い所では日降水量が 200 ミリを超えたほか、奄美地方、四国地方、近畿地方、北陸地方、東海地方、関東甲信地方や東北地方の多い所では 100 ミリを超える大雨となった。

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

7 月 7 日

秋田県仙北市田沢湖高原(タザワコウゲン)	133.5	岩手県雫石町葛根田(カッコンダ)	102.0

7 月 8 日

新潟県新発田市赤谷(アカダニ)	105.5	福島県福島市鷲倉(ワシクラ)	100.0

7 月 9 日

島根県出雲市斐川(ヒカワ)	214.5	鳥取県米子市米子(ヨナゴ)	148.0
秋田県大仙市大曲(オオマガリ)	146.0	岩手県西和賀町沢内(サワウチ)	127.5
山形県最上町向町(ムカイマチ)	122.0		

7 月 10 日

山口県岩国市広瀬(ヒロセ)	155.5	島根県浜田市波佐(ハザ)	108.0

7 月 11 日

宮崎県小林市小林(コバヤシ)	218.5	愛媛県東温市上林(カミハヤシ)	164.5
山口県下関市下関(シモノセキ)	150.5	鹿児島県さつま町紫尾山(シビサン)	145.0
高知県高知市高知(コウチ)	141.5	長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ)	137.0
和歌山県串本町潮岬(シオノミサキ)	130.5	熊本県南阿蘇村南阿蘇(ミナミアソ)	111.0

7 月 12 日

和歌山県紀の川市葛城山(ｶﾂﾗｷﾞｻﾝ)	106.0	福島県塙町東白川(ﾋｶﾞｼｼﾗｶﾜ)	101.5

7 月 13 日

鹿児島県十島村中之島(ﾅｶﾉｼﾏ)	135.5

7 月 14 日

長崎県五島市上大津(ｶﾐｵｵﾂﾞ)	279.5	鹿児島県阿久根市阿久根(ｱｸﾈ)	207.5
熊本県水俣市水俣(ﾐﾅﾏﾀ)	158.5	佐賀県嬉野市嬉野(ｳﾚｼﾉ)	110.5
鳥取県鳥取市佐治(ｻｼﾞ)	105.0	宮崎県小林市野尻(ﾉｼﾞﾘ)	103.5

7 月 15 日

鹿児島県伊佐市大口(ｵｵｸﾁ)	172.5	滋賀県彦根市彦根(ﾋｺﾈ)	116.5
福岡県朝倉市朝倉(ｱｻｸﾗ)	114.0	京都府南丹市美山(ﾐﾔﾏ)	102.0
佐賀県鳥栖市鳥栖(ﾄｽ)	100.5	熊本県あさぎり町上(ｳｴ)	100.5

7 月 16 日

静岡県磐田市磐田(ｲﾜﾀ)	134.5	岐阜県美濃加茂市美濃加茂(ﾐﾉｶﾓ)	130.5
長野県阿智村浪合(ﾅﾐｱｲ)	102.5		

7 月 17 日

新潟県村上市三面(ﾐｵﾓﾃ)	107.5

7 月 18 日から 7 月 22 日

7 月 18 日から 22 日は、前線が北上し西日本の日本海側から北日本に停滞したほか、前線上の低気圧が日本海を北東へ進んだ影響で雨となった所があり、九州北部地方や東北地方の多い所では日降水量が 100 ミリを超える大雨となった。

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

7 月 18 日

山形県真室川町差首鍋(ｻｽﾅﾍﾞ)	124.0

7 月 20 日

山口県長門市油谷(ﾕﾔ)	128.5

7 月 23 日から 7 月 26 日

7 月 23 日から 26 日は、前線が北日本に停滞したほか、前線上の低気圧が次々と北日本を通過した。太平洋高気圧の縁に沿って流れ込む暖かく湿った空気に加えて、沖縄の南から華南へ進む台風第 3 号※からの暖かく湿った空気が低気圧や前線に向かって流れ込み、前線の活動が活発となった。また、台風第 3 号が南西諸島に接近した。これらの影響により、全国的に雨となり、八重山地方や山形県では線状降水帯が発生した。東北地方の多い所では日降水量が 300 ミリを超えたほか、沖縄地方、九州北部地方、北陸地方や北海道地方では 100 ミリを超える大雨となった。

（※ 台風第 3 号は 7 月 20 日 09 時にフィリピンの東で発生し、27 日 03 時に華中で熱帯低気圧に変わった。）

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

7 月 24 日

秋田県由利本荘市東由利(ﾋｶﾞｼﾕﾘ)	189.5	沖縄県竹富町西表島(ｲﾘｵﾓﾃｼﾞﾏ)	183.5
北海道旭川市江丹別(ｴﾀﾝﾍﾞﾂ)	180.5	長崎県対馬市鰐浦(ﾜﾆｳﾗ)	127.5
北海道増毛町増毛(ﾏｼｹ)	110.5	北海道深川市深川(ﾌｶｶﾞﾜ)	106.0

7 月 25 日

山形県新庄市新庄(ｼﾝｼﾞｮｳ)	361.0	秋田県北秋田市阿仁合(ｱﾆｱｲ)	227.0

岩手県雫石町葛根田(ｶｯｺﾝﾀﾞ)	128.5	沖縄県竹富町西表島(ｲﾘｵﾓﾃｼﾞﾏ)	114.5
新潟県中央区新潟(ﾆｲｶﾞﾀ)	111.0	宮城県加美町加美(ｶﾐ)	104.5

7 月 26 日

宮城県大崎市川渡(ｶﾜﾀﾋﾞ)	116.0

7 月 27 日から 7 月 30 日

7 月 27 日から 30 日は、前線が北日本から東日本に停滞したほか、前線上の低気圧が北日本を通過した影響で雨となった所があり、北海道地方の多い所では日降水量が 100 ミリを超える大雨となった。

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

7 月 29 日

北海道浦河町中杵臼(ﾅｶｷﾈｳｽ)	116.0

(3)8 月 10 日～8 月 13 日：東北地方（大雨）＜台風第 5 号＞

8 月 8 日 03 時に小笠原諸島近海で発生した台風第 5 号は日本の東の海上を北上し、10 日夜には進路を北西へ変えて進み、12 日 08 時半頃に岩手県大船渡市付近に上陸した。その後台風は東北地方を遅い速度で進んで 12 日 15 時に熱帯低気圧に変わり、台風から変わった熱帯低気圧は東北地方を横断して同日夜には日本海に達した。

動きの遅い台風の影響で、8 月 10 日から 13 日にかけての総雨量は、岩手県の多い所で 400 ミリを超えるなど、東北地方では平年の 8 月の月降水量の 2 倍以上となる記録的な大雨となったほか、48 時間降水量では観測史上 1 位の値を更新した所があった。また、台風とオホーツク海の高気圧との間で気圧の傾きが急となったため、東北地方では 15 メートルを超える強い風を観測した所があった。

この台風により、東北地方を中心に、大雨による土砂災害、河川の氾濫、浸水害等が発生した。また、大規模な停電、断水等のライフラインへの被害が発生したほか、航空機の欠航や鉄道の運休等の交通障害が発生した。（被害の状況は令和 6 年 8 月 14 日の内閣府とりまとめ等による）

8 月 10 日から 8 月 11 日

10 日から 11 日は、台風第 5 号が日本の東を北上し、10 日夜には進路を北西へ変えて三陸沖を進んだ。東北地方へ接近した台風本体や台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、10 日は東北地方で雨が強まり、11 日には岩手県では日降水量 200 ミリを超える大雨となった所があった。

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

8 月 11 日

岩手県久慈市下戸鎖(ｼﾓﾄｸｻﾘ)	281.0

8 月 12 日から 8 月 13 日

12 日は、台風第 5 号は 12 日 08 時半頃に岩手県大船渡市付近に上陸し、遅い速度で東北地方を横断しながら、熱帯低気圧に変わった。台風から変わった熱帯低気圧は 12 日夜には日本海へ進んだ。動きの遅い台風の影響が長く続いたため、岩手県では日降水量 200 ミリを超える大雨となったほか、東北地方では 15 メートルを超える強い風が吹いた所があった。13 日は、台風から変わった熱帯低気圧は日本海北部で次第に弱まりながらほとんど停滞した。台風から変わった熱帯低気圧や暖かく湿った空気の影響で、北海道地方では日降水量 100 ミリを超える大雨となった所があった。

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

8 月 12 日

岩手県大槌町大槌(ｵｵﾂﾁ)	203.0

8 月 13 日

北海道白老町森野(ﾓﾘﾉ)	152.0	北海道千歳市支笏湖畔(ｼｺﾂｺﾊﾝ)	148.0

(4)8 月 26 日～9 月 1 日:西日本、東日本(大雨、暴風、高波、高潮、突風)＜台風第 10 号＞

8 月 22 日 03 時にマリアナ諸島近海で発生した台風第 10 号は、24 日にかけて発達しながら北へ進み、25 日には進路を北西へ変えて日本の南の海上を進んだ。台風は日本付近で動きが遅くなり、27 日に非常に強い勢力となって奄美地方に接近し、その後進路を北に変えて九州南部に接近した。台風は、29 日 08 時頃に強い勢力で鹿児島県薩摩川内市付近に上陸し、その後は比較的遅い速度で勢力を弱めながら九州北部地方から四国地方へ進み、30 日 21 時に四国地方で熱帯低気圧に変わった。その後、台風から変わった熱帯低気圧は 9 月 1 日にかけて東海道沖へ進んだ。

動きの遅い台風第 10 号や太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った空気の影響が長く続いたため、26 日以降、西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に記録的な大雨となり、台風が西日本に接近・通過した 28 日から 31 日の間に鹿児島県(奄美地方を除く)、宮崎県、大分県、徳島県、香川県、兵庫県及び三重県では線状降水帯が発生した。8 月 26 日から 9 月 1 日にかけての総降水量は、九州南部や東海地方の多い所で 900 ミリを超える大雨となったほか、九州北部地方や四国地方でも多い所で 600 ミリを超える大雨となり、総降水量が平年の 8 月の月降水量の 2 倍以上となった所があった。

台風が非常に強い勢力で九州に接近したため、8 月 27 日から 29 日にかけて鹿児島県では風速 30 メートルを超える猛烈な風を観測したほか、九州南部・奄美地方や九州北部地方では風速 20 メートルを超える非常に強い風を観測し、暴風となった所があった。また、期間中の最大風速では観測史上1位や 8 月の 1 位の値を更新した所があった。

また、この期間は西日本から東日本にかけて大気の状態が非常に不安定となったため、発達した積乱雲により、突風の被害が発生した所があった。特に宮崎県では、28 日から 29 日にかけて複数の市町で竜巻とみられる突風の被害が発生した。

この大雨等の影響で、西日本や東日本を中心に土砂災害、洪水災害、浸水害等が発生し、人的被害や住家被害が発生した。また、停電、断水、電話の不通等ライフラインに被害が発生したほか、鉄道の運休等の交通障害が発生した。(被害の状況は令和 6 年 9 月 4 日の内閣府とりまとめ等による)

8 月 26 日から 8 月 27 日

台風第 10 号は、26 日は強い勢力で日本の南の海上を北西へ進んで次第に動きが遅くなり、27 日は非常に強い勢力に発達して奄美地方に接近した。26 日は、沖縄地方付近の熱帯低気圧、台風及び太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った空気の影響で、沖縄地方、四国地方及び東海地方では多い所で日降水量が 100 ミリを超える大雨となったほか、栃木県では線状降水帯が発生した。27 日は台風及び日本海から北日本にのびる前線の影響で、東海地方及び東北地方では多い所で日降水量が 200 ミリを超え、岩手県では線状降水帯が発生したほか、四国地方、近畿地方、関東地方及び北海道地方でも日降水量が 100 ミリを超える大雨となった。台風の接近により、奄美地方では風速 30 メートルを超える猛烈な風を観測した所があった。

27 日は、中国地方では台風から日本海の停滞前線に向かって流れ込んだ暖かく湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、鳥取県の西伯郡伯耆町では日本版改良藤田スケールで JEF1 の強さの突風が発生し、住家半壊等の被害が発生した。(被害の状況は令和 7 年 3 月 13 日の鳥取地方気象台による現地災害調査報告等による)

[日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

8 月 26 日

沖縄県北大東村北大東(ｷﾀﾀﾞｲﾄｳ)	137.5	三重県大紀町藤坂峠(ﾌｼﾞｻｶﾄｳｹﾞ)	103.5

高知県馬路村魚梁瀬(ﾔﾅｾ)	100.5		

8 月 27 日

北海道白老町森野(ﾓﾘﾉ)	152.0	北海道千歳市支笏湖畔(ｼｺﾂｺﾊﾝ)	148.0
愛知県新城市新城(ｼﾝｼﾛ)	237.5	静岡県浜松市浜名区三ヶ日(ﾐｯｶﾋﾞ)	229.5
岩手県盛岡市薮川(ﾔﾌﾞｶﾜ)	211.5	兵庫県佐用町佐用(ｻﾖｳ)	147.5
北海道厚真町厚真(ｱﾂﾏ)	122.5	高知県佐川町佐川(ｻｶﾜ)	114.5
北海道福島町千軒(ｾﾝｹﾞﾝ)	110.0	神奈川県箱根町箱根(ﾊｺﾈ)	105.5

［最大風速 20 メートル以上を観測した主な地点（単位：メートル）］

8 月 27 日

鹿児島県喜界町喜界島(ｷｶｲｼﾞﾏ)	33.0

8 月 28 日から 8 月 29 日

台風第 10 号は、28 日は非常に強い勢力で奄美地方付近をゆっくりとした速度で北上し、29 日も非常に強い勢力を保ったまま九州南部の海上をゆっくりとした速度で北上を続け、29 日 08 時頃に強い勢力で鹿児島県薩摩川内市付近に上陸した。その後、台風は急速に勢力を弱めながら九州南部から九州北部地方へ比較的遅い速度で進んだ。台風や日本海から北日本にのびる前線の影響で、28 日から 29 日は、鹿児島県(奄美地方を除く)、宮崎県、大分県、徳島県、香川県及び兵庫県では線状降水帯が発生した。九州南部や九州北部地方では多い所で日降水量が 400 ミリを超え、四国地方や東海地方の多い所で 300 ミリを超える大雨となったほか、西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に広い範囲で 100 ミリを超える大雨となった。また、九州南部では風速 30 メートルを超える猛烈な風を観測したほか、九州北部地方でも風速 20 メートル以上の非常に強い風を観測した。

九州南部では台風本体や台風周辺の暖かく湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、宮崎県の宮崎市、児湯郡新富町、東諸県郡国富町、西都市、児湯郡都農町及び東臼杵郡門川町では日本版改良藤田スケールで JEF0 から JEF2 の強さの竜巻などの激しい突風が計 10 件発生し、負傷者 39 名の人的被害や住家被害等が発生した。（被害の状況は令和 7 年 3 月 28 日の宮崎地方気象台による現地災害調査報告等による）

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

8 月 28 日

宮崎県えびの市えびの高原(ｴﾋﾞﾉｺｳｹﾞﾝ)	407.0	鹿児島県錦江町田代(ﾀｼﾛ)	348.0
大分県佐伯市佐伯(ｻｲｷ)	221.5	静岡県御前崎市御前崎(ｵﾏｴｻﾞｷ)	213.5
熊本県湯前町湯前横谷(ﾕﾉﾏｴﾖｺﾀﾆ)	197.5	高知県檮原町梼原(ﾕｽﾊﾗ)	191.0
愛媛県愛南町御荘(ﾐｼｮｳ)	105.5	徳島県那賀町木頭(ｷﾄｳ)	100.0

8 月 29 日

宮崎県美郷町神門(ﾐｶﾄﾞ)	471.0	大分県由布市湯布院(ﾕﾌｲﾝ)	451.0
福岡県北九州市小倉南区東谷(ﾋｶﾞｼﾀﾆ)	408.0	長崎県雲仙市雲仙岳(ｳﾝｾﾞﾝﾀﾞｹ)	348.0
徳島県上勝町福原旭(ﾌｸﾊﾗｱｻﾋ)	346.0	高知県仁淀川町鳥形山(ﾄﾘｶﾞﾀﾔﾏ)	342.0
三重県津市津(ﾂ)	325.5	熊本県五木村五木(ｲﾂｷ)	315.0
静岡県静岡市駿河区静岡(ｼｽﾞｵｶ)	285.5	鹿児島県薩摩川内市八重山(ﾔｴﾔﾏ)	285.5
東京都八王子市八王子(ﾊﾁｵｳｼﾞ)	240.0	神奈川県小田原市小田原(ｵﾀﾞﾜﾗ)	220.0
兵庫県南あわじ市南淡(ﾅﾝﾀﾞﾝ)	206.5	奈良県下北山村下北山(ｼﾓｷﾀﾔﾏ)	192.0
香川県東かがわ市引田(ﾋｹﾀ)	192.0	山梨県山中湖村山中(ﾔﾏﾅｶ)	183.0
埼玉県飯能市飯能(ﾊﾝﾉｳ)	179.0	山口県宇部市宇部(ｳﾍﾞ)	179.0
愛媛県四国中央市富郷(ﾄﾐｻﾄ)	150.5	愛知県常滑市セントレア	142.0

佐賀県佐賀市川副(ｶﾜｿｴ)	135.5	岐阜県大垣市上石津(ｶﾐｲｼﾂﾞ)	134.0
群馬県藤岡市藤岡(ﾌｼﾞｵｶ)	116.0	和歌山県和歌山市友ケ島(ﾄﾓｶﾞｼﾏ)	108.5

［最大風速 20 メートル以上を観測した主な地点（単位：メートル）］

8 月 28 日

鹿児島県屋久島町屋久島(ﾔｸｼﾏ)	32.1	宮崎県宮崎市赤江(ｱｶｴ)	20.7
長崎県雲仙市雲仙岳(ｳﾝｾﾞﾝﾀﾞｹ)	20.3		

8 月 29 日

鹿児島県枕崎市枕崎(ﾏｸﾗｻﾞｷ)	32.5	宮崎県宮崎市赤江(ｱｶｴ)	23.4
長崎県雲仙市雲仙岳(ｳﾝｾﾞﾝﾀﾞｹ)	23.3	佐賀県佐賀市佐賀(ｻｶﾞ)	22.4
熊本県益城町益城(ﾏｼｷ)	21.6	大分県佐伯市蒲江(ｶﾏｴ)	20.7

8 月 30 日から 9 月 1 日

台風第 10 号は、30 日は進路を東に変えて、勢力を弱めながら九州北部地方から四国地方へ進み、同日 21 時に四国地方で熱帯低気圧に変わった。その後、台風から変わった熱帯低気圧は 9 月 1 日にかけて東海道沖へ進んだ。動きの遅い台風や太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った空気の影響で、30 日から 31 日は、東海地方では多い所で日降水量が 300 ミリを超え、四国地方や関東地方の多い所で 200 ミリを超える大雨となったほか、西日本から東日本にかけての広い範囲で 100 ミリを超える大雨となった。三重県では 31 日に線状降水帯が発生した。また、北海道地方や東北地方では前線や低気圧の影響で、日降水量が 100 ミリを超える大雨となった。1 日は台風や台風から変わった熱帯低気圧の影響で東海地方では日降水量で 100 ミリを超える大雨となった所があった。

31 日は、東海地方では台風から変わった熱帯低気圧による暖かく湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、岐阜県海津市では日本版改良藤田スケールで JEF0 の強さの突風が発生した。

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

8 月 30 日

静岡県熱海市網代(ｱｼﾞﾛ)	319.0	神奈川県小田原市小田原(ｵﾀﾞﾜﾗ)	228.5
三重県大台町宮川(ﾐﾔｶﾞﾜ)	212.0	高知県本山町本山(ﾓﾄﾔﾏ)	211.5
山口県周南市和田(ﾜﾀﾞ)	174.0	徳島県那賀町木頭(ｷﾄｳ)	157.5
東京都府中市府中(ﾌﾁｭｳ)	147.5	愛媛県四国中央市富郷(ﾄﾐｻﾄ)	134.0
埼玉県所沢市所沢(ﾄｺﾛｻﾞﾜ)	132.0		
福岡県福岡市早良区早良脇山(ｻﾜﾗﾜｷﾔﾏ)	131.5		
広島県安芸太田町内黒山(ｳﾁｸﾞﾛﾔﾏ)	126.0	鹿児島県鹿屋市吉ケ別府(ﾖｼｶﾞﾍﾞｯﾌﾟ)	122.0
奈良県下北山村下北山(ｼﾓｷﾀﾔﾏ)	120.5	栃木県日光市奥日光(ｵｸﾆｯｺｳ)	115.5
岡山県新見市千屋(ﾁﾔ)	111.0	島根県出雲市出雲(ｲｽﾞﾓ)	108.0
熊本県山都町山都(ﾔﾏﾄ)	107.0	和歌山県田辺市栗栖川(ｸﾘｽｶﾞﾜ)	106.0
鳥取県大山町大山(ﾀﾞｲｾﾝ)	105.5		

8 月 31 日

三重県大紀町藤坂峠(ﾌｼﾞｻｶﾄｳｹﾞ)	256.0	静岡県伊豆市天城山(ｱﾏｷﾞｻﾝ)	220.0
岐阜県揖斐川町揖斐川(ｲﾋﾞｶﾞﾜ)	196.0	愛知県新城市新城(ｼﾝｼﾛ)	151.0
神奈川県海老名市海老名(ｴﾋﾞﾅ)	139.5	山梨県南部町南部(ﾅﾝﾌﾞ)	110.0
北海道標茶町標茶(ｼﾍﾞﾁｬ)	104.0	青森県五所川原市五所川原(ｺﾞｼｮｶﾞﾜﾗ)	100.0

9 月 1 日

静岡県伊豆市天城山(ｱﾏｷﾞｻﾝ)	107.5

(5)9 月 20 日～9 月 22 日:北陸地方(大雨)＜低気圧と前線＞

9 月 20 日は、前線が東北地方から東日本付近まで南下した。21 日は、前線が日本海から東日本付近に停滞し、前線上の低気圧が日本海の山陰沖から能登半島付近へ進んだ。22 日は台風第 14 号から変わった低気圧が前線上を日本海から東北地方を通って三陸沖へ進んだ。前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、東北地方から西日本にかけての広い範囲で大雨となった。秋田県では 20 日明け方に、石川県では 21 日昼前に線状降水帯が発生した。特に前線に近い石川県能登では多い所で日降水量が 300 ミリを超える大雨となったほか、九州北部地方及び九州南部では多い所で日降水量が 200 ミリを超え、東北地方、北陸地方、関東甲信地方、近畿地方及び四国地方では多い所で日降水量が 100 ミリを超える大雨となった。石川県では 20 日から 22 日までの総降水量が多い所で 500 ミリを超え、平年の 9 月の月降水量の 2 倍を上回る地点があった。

これらの大雨の影響で、石川県能登を中心に土砂災害や河川の氾濫、浸水害等が発生し、人的被害や住家被害が発生した。また、停電、断水、電話の不通等ライフラインに被害が発生したほか、鉄道の運休等の交通障害が発生した。(被害の状況は令和 6 年 12 月 24 日の内閣府とりまとめ等による)

[日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点(単位:ミリ)]

9 月 20 日

新潟県村上市三面(ﾐｵﾓﾃ)	148.0	秋田県秋田市大正寺(ﾀﾞｲｼｮｳｼﾞ)	122.0
山形県小国町小国(ｵｸﾞﾆ)	117.0		

9 月 21 日

岩手県大槌町大槌(ｵｵﾂﾁ)	161.0	東京都小笠原村父島(ﾁﾁｼﾞﾏ)	102.5
石川県輪島市輪島(ﾜｼﾞﾏ)	361.5	長崎県対馬市厳原(ｲﾂﾞﾊﾗ)	161.0
高知県香美市大栃(ｵｵﾄﾞﾁ)	143.0	山形県西川町大井沢(ｵｵｲｻﾜ)	139.0
新潟県村上市三面(ﾐｵﾓﾃ)	133.0	秋田県由利本荘市笹子(ｼﾞﾈｺﾞ)	128.0
岩手県西和賀町沢内(ｻﾜｳﾁ)	125.5	宮城県仙台市泉区泉ケ岳(ｲｽﾞﾐｶﾞﾀﾞｹ)	120.0

9 月 22 日

熊本県宇城市三角(ﾐｽﾐ)	228.5	鹿児島県さつま町紫尾山(ｼﾋﾞｻﾝ)	208.5
大分県日田市椿ヶ鼻(ﾂﾊﾞｷｶﾞﾊﾅ)	183.5	宮崎県えびの市えびの高原(ｴﾋﾞﾉｺｳｹﾞﾝ)	153.0
長崎県南島原市口之津(ｸﾁﾉﾂ)	148.0	高知県四万十町窪川(ｸﾎﾞｶﾜ)	135.5
佐賀県伊万里市伊万里(ｲﾏﾘ)	131.0	岩手県久慈市下戸鎖(ｼﾓﾄｸｻﾘ)	124.0
福岡県八女市黒木(ｸﾛｷﾞ)	121.5	石川県輪島市輪島(ﾜｼﾞﾏ)	119.0
長野県王滝村御嶽山(ｵﾝﾀｹｻﾝ)	117.0	和歌山県田辺市龍神(ﾘｭｳｼﾞﾝ)	112.5
香川県三豊市財田(ｻｲﾀ)	101.0		

(6)11 月 8 日～11 月 10 日:沖縄・奄美(大雨)＜暖かく湿った空気＞

11 月 8 日から 10 日にかけて、沖縄・奄美では高気圧の縁を回る暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった。奄美地方(鹿児島県)と沖縄本島地方を中心に局地的に猛烈な雨が降り、9 日は線状降水帯が発生した。奄美地方と沖縄本島地方の多い所で 1 時間降水量が 100 ミリ、3 時間降水量が 200 ミリ、48 時間降水量が 600 ミリを超えるなど観測史上 1 位の値を更新し、この期間の降水量が平年の年間降水量の約 3 割に匹敵する記録的な大雨となった。

この大雨により、鹿児島県と沖縄県では、土砂災害、浸水害等が発生し、住家被害が発生した。また、停電、断水等ライフラインへの被害が発生したほか、船舶の運休等の交通障害が発生した。(被害の状況は令和 6 年 11 月 11 日の内閣府とりまとめ等による)

［日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点（単位：ミリ）］

11 月 8 日

鹿児島県与論町与論島(ﾖﾛﾝｼﾞﾏ)	424.5	沖縄県国頭村奥(ｵｸ)	175.0

11 月 9 日

沖縄県東村東(ﾋｶﾞｼ)	403.5	鹿児島県与論町与論島(ﾖﾛﾝｼﾞﾏ)	172.0

11 月 10 日

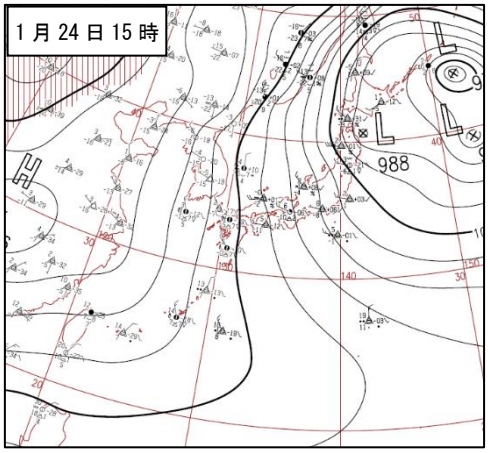
沖縄県国頭村奥(ｵｸ)	160.5	鹿児島県和泊町沖永良部(ｵｷﾉｴﾗﾌﾞ)	130.0

資料 1-2-1　主な気象災害に対応する気象資料

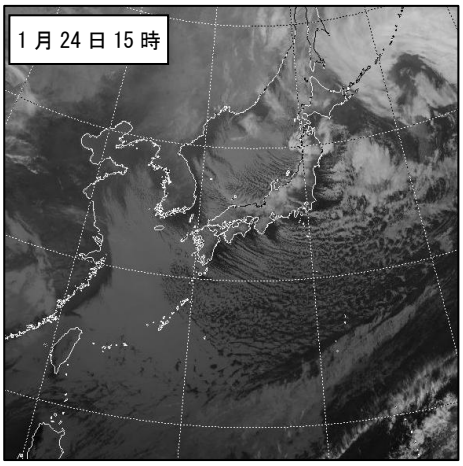
○ 災害番号（1）

冬型の気圧配置や低気圧による大雪等（1 月 22 日～1 月 26 日）

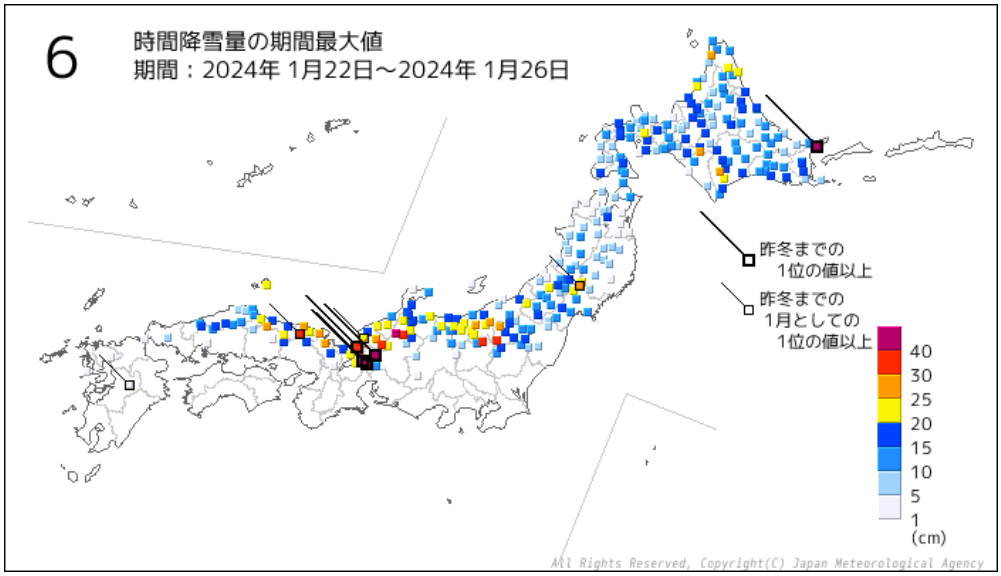
地上天気図



気象衛星画像（赤外）



期間最大6時間降雪量分布図（1 月 22 日～1 月 26 日）

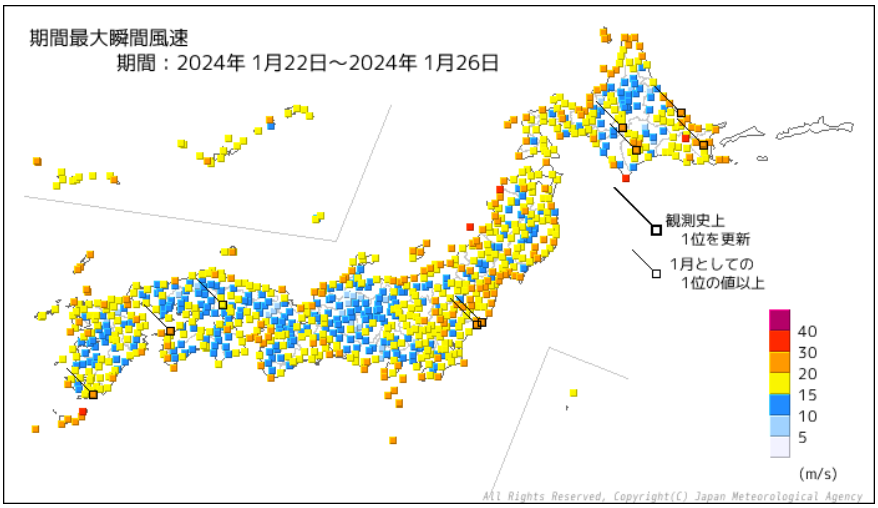


期間最大6時間降雪量表（上位 10 地点）（1 月 22 日～1 月 26 日）

順位	都道府県	市町村	地点名（読み）	降雪量		
				(cm)	年月日	時分
1	岐阜県	不破郡関ケ原町	関ケ原（セキガハラ）	49	2024/1/24	13:00
2	北海道　根室地方	目梨郡羅臼町	羅臼（ラウス）	44]	2024/1/25	21:00
3	岐阜県	本巣市	樽見（タルミ）	43	2024/1/24	06:00
4	岐阜県	大野郡白川村	白川（シラカワ）	40	2024/1/24	04:00
4	滋賀県	米原市	米原（マイバラ）	40	2024/1/24	13:00
6	滋賀県	長浜市	柳ケ瀬（ヤナガセ）	39	2024/1/24	08:00
7	群馬県	利根郡みなかみ町	藤原（フジワラ）	34	2024/1/24	05:00
8	福井県	大野市	九頭竜（クズリュウ）	32	2024/1/24	04:00
8	福井県	敦賀市	敦賀（ツルガ）	32	2024/1/24	08:00
10	福島県	南会津郡檜枝岐村	桧枝岐（ヒノエマタ）	31	2024/1/25	10:00
10	兵庫県	美方郡香美町	兎和野高原（ウワノコウゲン）	31	2024/1/24	13:00

]：統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けています。（資料不足値）

期間最大瞬間風速分布図(1 月 22 日～1 月 26 日)



期間最大瞬間風速表(上位 10 地点)(1 月 22 日～1 月 26 日)

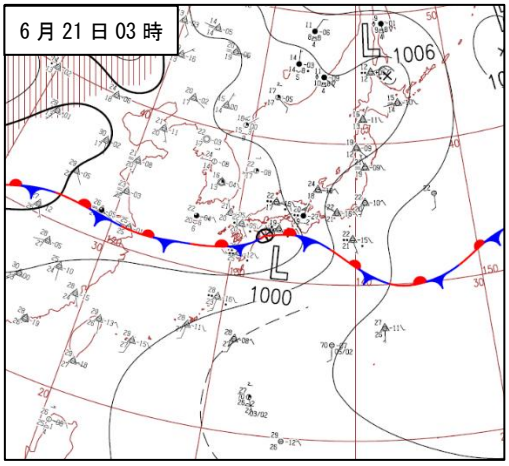
順位	都道府県	市町村	地点名（読み）	風速			
				(m/s)	風向	年月日	時分
1	北海道 日高地方	幌泉郡えりも町	えりも岬（エリモミサキ）	34.4	西北西	2024/1/25	06:49
2	山形県	酒田市	飛島（トビシマ）	31.8	西北西	2024/1/24	14:00
3	鹿児島県	西之表市	種子島（タネガシマ）	31.1	北西	2024/1/24	00:07
4	北海道 釧路地方	川上郡弟子屈町	弟子屈（テシカガ）	30.8	北北西)	2024/1/25	18:26)
5	秋田県	山本郡八峰町	八森（ハチモリ）	30.2	西	2024/1/24	12:03
6	福島県	いわき市	小名浜（オナハマ）	29.7	西北西	2024/1/25	13:26
7	北海道 網走・北見・紋別地方	網走市	網走（アバシリ）	29.0	北西	2024/1/25	09:24
8	北海道 宗谷地方	稚内市	宗谷岬（ソウヤミサキ）	28.7	北北東	2024/1/24	08:58
9	北海道 宗谷地方	稚内市	稚内（ワッカナイ）	28.5	北	2024/1/25	08:10
9	青森県	八戸市	八戸（ハチノヘ）	28.5	南西	2024/1/24	12:53

)：統計を行う対象資料が許容範囲内で欠けていますが、上位の統計に用いる際は一部の例外を除いて原則として正常値と同等に扱います。(準正常値)

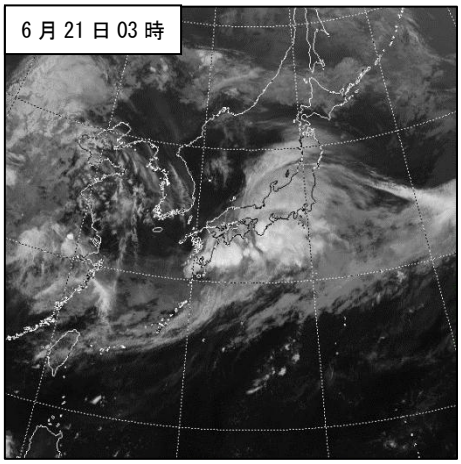
○ 災害番号(2)

梅雨前線による九州南部地方を中心とした大雨(6 月 20 日～6 月 24 日)

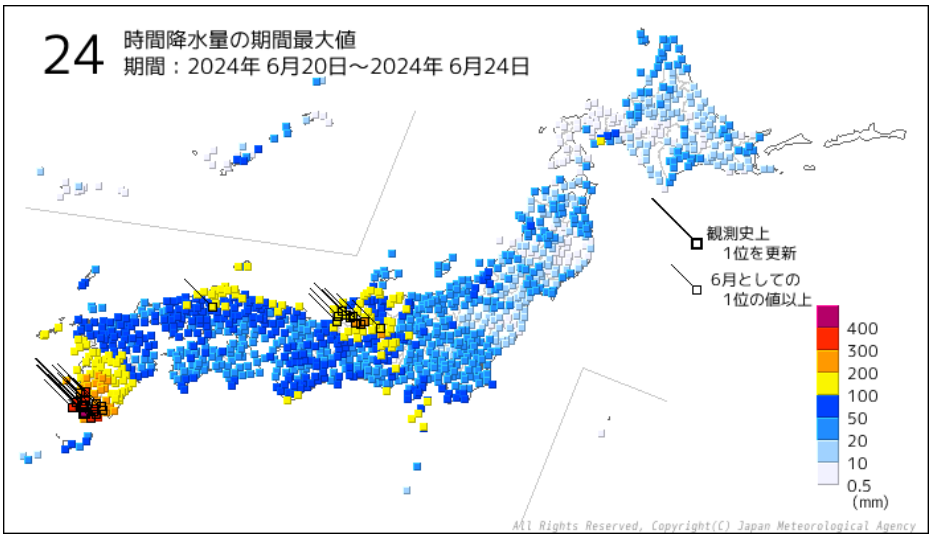
地上天気図



気象衛星画像(赤外)



期間最大 24 時間降水量分布図(6 月 20 日～6 月 24 日)

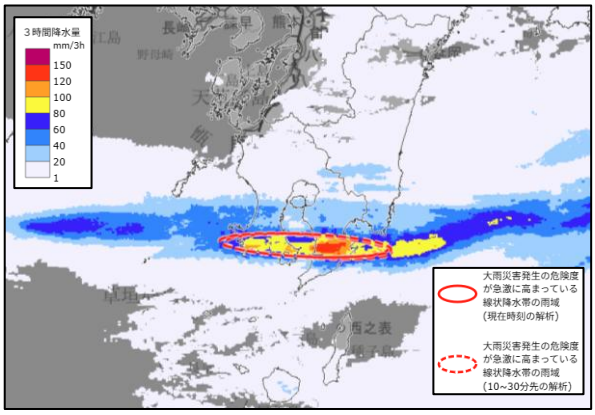


期間最大 24 時間降水量表(上位 10 地点)(6 月 20 日～6 月 24 日)

順位	都道府県	市町村	地点名（読み）	降水量		
				(mm)	年月日	時分
1	鹿児島県	指宿市	指宿（イブスキ）	423.0	2024/6/21	08:30
2	鹿児島県	鹿屋市	吉ケ別府（ヨシガベップ）	389.0	2024/6/21	06:40
3	鹿児島県	肝属郡肝付町	肝付前田（キモツキマエダ）	378.5	2024/6/21	07:50
4	鹿児島県	鹿児島市	喜入（キイレ）	370.5	2024/6/21	07:10
5	鹿児島県	鹿屋市	鹿屋（カノヤ）	362.5	2024/6/21	07:40
6	鹿児島県	枕崎市	枕崎（マクラザキ）	352.5	2024/6/21	07:50
7	鹿児島県	薩摩川内市	八重山（ヤエヤマ）	352.0	2024/6/21	05:20
8	鹿児島県	肝属郡肝付町	内之浦（ウチノウラ）	337.0	2024/6/21	07:40
9	鹿児島県	南さつま市	加世田（カセダ）	323.5	2024/6/21	06:50
10	鹿児島県	鹿児島市	鹿児島（カゴシマ）	314.0	2024/6/21	05:10

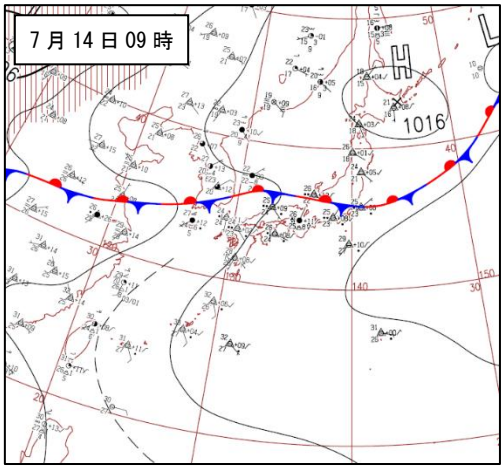
「顕著な大雨に関する気象情報」発表時における 3 時間降水量（解析雨量）

6 月 21 日 05 時 30 分

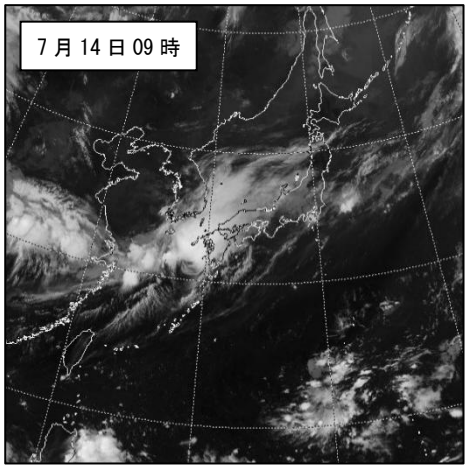


梅雨前線による西日本を中心とした大雨(7 月 7 日～7 月 20 日)

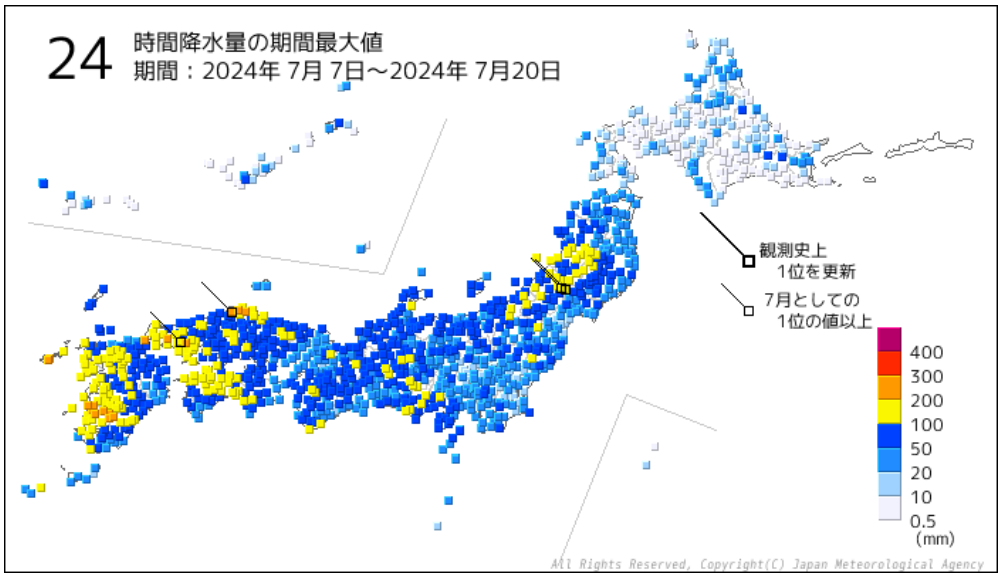
地上天気図



気象衛星画像(赤外)



期間最大 24 時間降水量分布図(7 月 7 日～7 月 20 日)

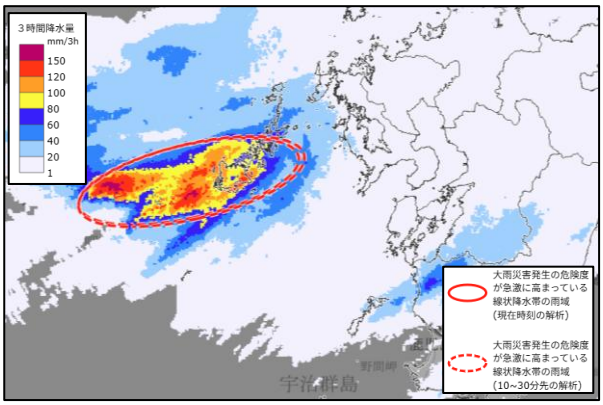


期間最大 24 時間降水量表(上位 10 地点)(7 月 7 日～7 月 20 日)

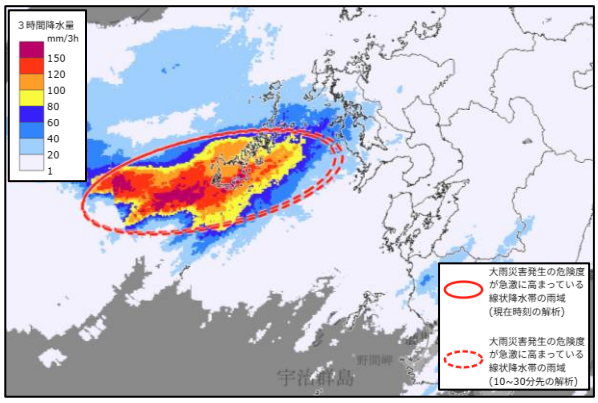
順位	都道府県	市町村	地点名（読み）	降水量		
				(mm)	年月日	時分
1	長崎県	五島市	上大津（カミオオヅ）	287.5	2024/7/15	04:10
2	長崎県	五島市	福江（フクエ）	285.0	2024/7/15	03:20
3	宮崎県	小林市	小林（コバヤシ）	269.0	2024/7/12	07:50
4	宮崎県	えびの市	えびの高原（エビノコウゲン）	246.0	2024/7/12	06:40
5	鹿児島県	阿久根市	阿久根（アクネ）	241.0	2024/7/15	02:40
6	山口県	下関市	下関（シモノセキ）	237.0	2024/7/11	17:30
7	鹿児島県	出水市	出水（イズミ）	232.5	2024/7/15	11:10
8	鹿児島県	薩摩郡さつま町	さつま柏原（サツマカシワバル）	230.0	2024/7/15	12:20
9	島根県	出雲市	斐川（ヒカワ）	214.5	2024/7/10	07:10
10	鹿児島県	伊佐市	大口（オオクチ）	214.0	2024/7/15	12:20

「顕著な大雨に関する気象情報」発表時における 3 時間降水量（解析雨量）

7 月 14 日 07 時 40 分

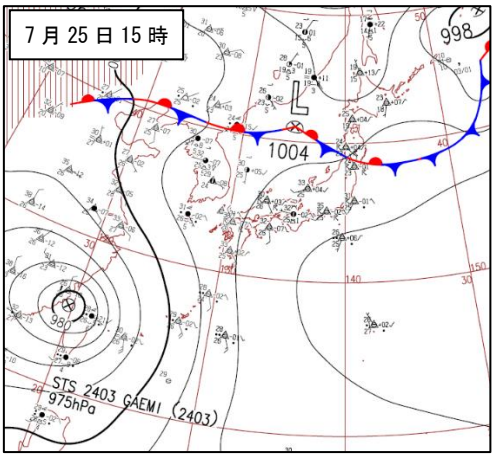


7 月 14 日 08 時 30 分

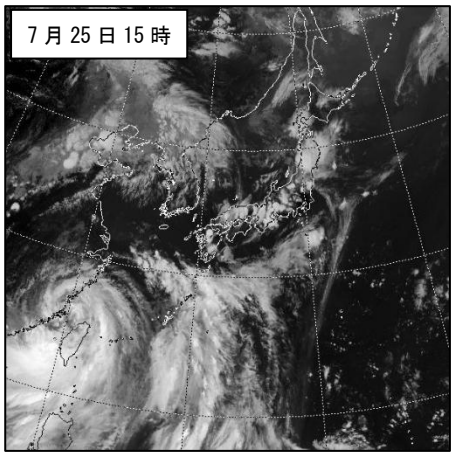


梅雨前線及び低気圧による北日本及び南西諸島を中心とした大雨（7 月 24 日～7 月 30 日）

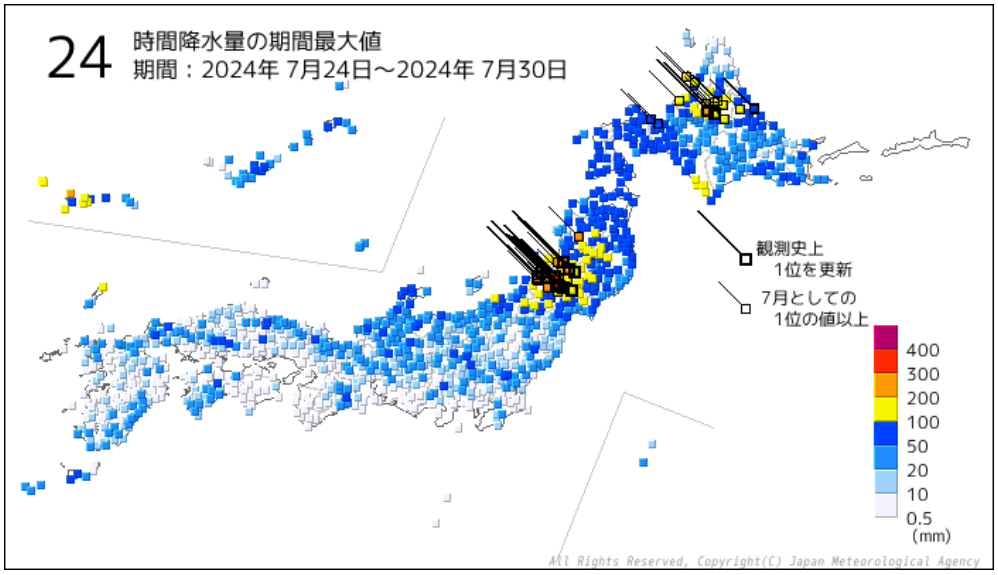
地上天気図



気象衛星画像（赤外）



期間最大 24 時間降水量分布図（7 月 24 日～7 月 30 日）



期間最大 24 時間降水量表（上位 10 地点）（7 月 24 日～7 月 30 日）

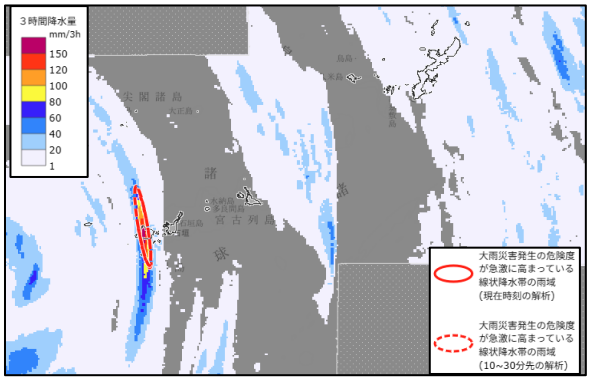
順位	都道府県	市町村	地点名（読み）	降水量		
				(mm)	年月日	時分
1	山形県	新庄市	新庄（シンジョウ）	389.0	2024/7/26	06:40
2	山形県	最上郡真室川町	差首鍋（サスナベ）	384.0	2024/7/26	04:40
3	山形県	最上郡最上町	瀬見（セミ）	382.0	2024/7/26	06:50
4	山形県	酒田市	酒田大沢（サカタオオサワ）	357.5)	2024/7/26	04:20
5	山形県	最上郡最上町	向町（ムカイマチ）	329.0	2024/7/26	07:00
6	山形県	酒田市	酒田（サカタ）	289.0	2024/7/26	04:00
7	沖縄県	八重山郡竹富町	西表島（イリオモテジマ）	267.0]	2024/7/25	03:20
8	山形県	東田川郡庄内町	狩川（カリカワ）	265.5	2024/7/26	04:10
9	秋田県	北秋田市	阿仁合（アニアイ）	245.5	2024/7/26	03:10
10	秋田県	由利本荘市	東由利（ヒガシユリ）	238.5	2024/7/25	14:30

)：統計を行う対象資料が許容範囲内で欠けていますが、上位の統計に用いる際は一部の例外を除いて原則として正常値と同等に扱います。（準正常値）

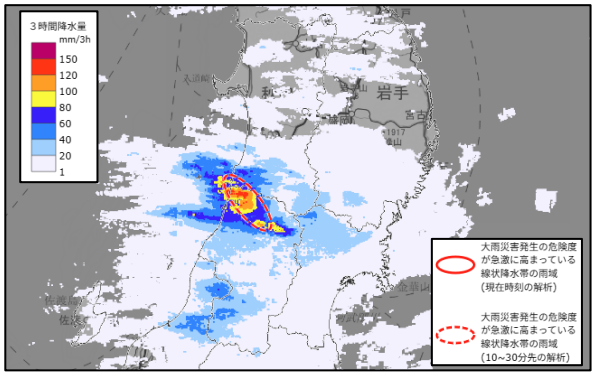
]：統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けています。（資料不足値）

「顕著な大雨に関する気象情報」発表時における 3 時間降水量(解析雨量)

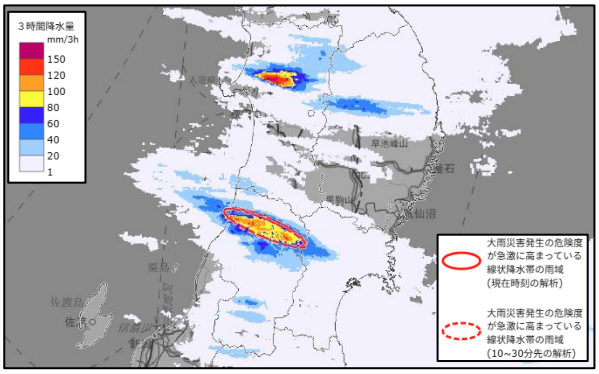
7 月 25 日 01 時 00 分



7 月 25 日 13 時 00 分



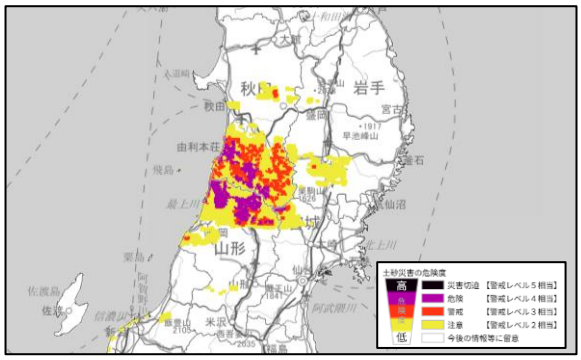
7 月 25 日 22 時 40 分



7 月 25 日 13 時 00 分(山形県酒田市及び遊佐町に大雨特別警報を発表する直前)におけるキキクル(危険度分布)の状況

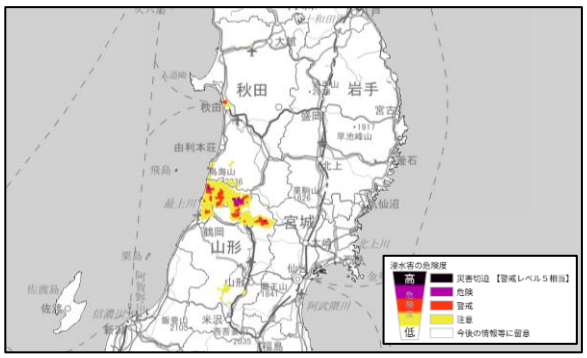
土砂キキクル

(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)

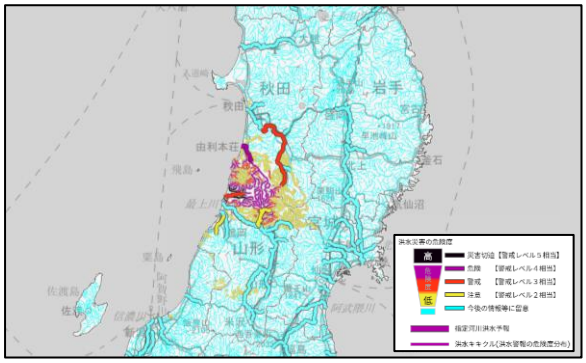


浸水キキクル

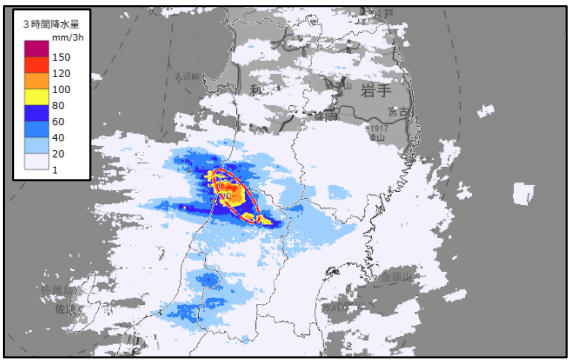
(大雨警報(浸水害)の危険度分布)



洪水キキクル
（洪水警報の危険度分布）

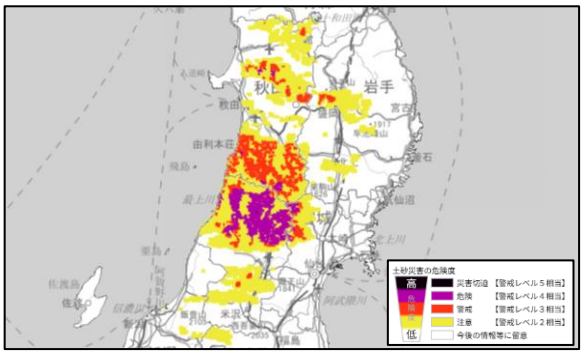


参考：3 時間降水量（解析雨量）
※再掲

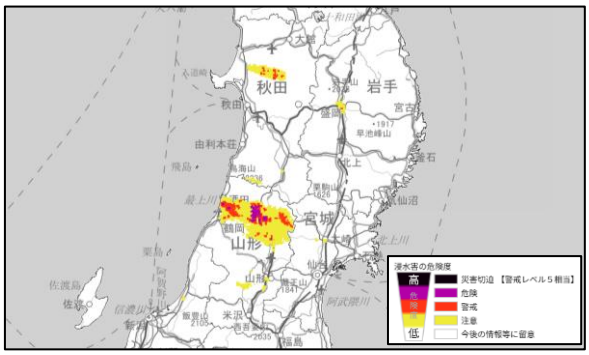


7 月 25 日 23 時 40 分（山形県酒田市、庄内町、新庄市、舟形町、鮭川村及び戸沢村に大雨特別警報を発表した時）におけるキキクル（危険度分布）の状況

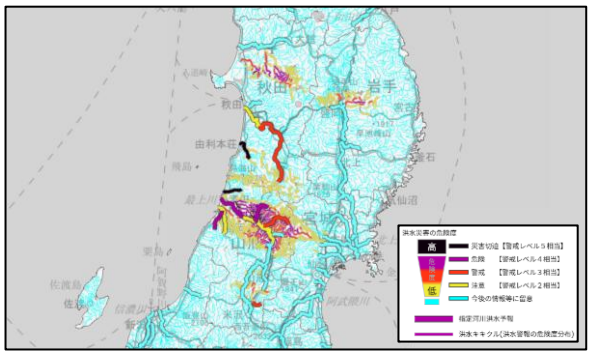
土砂キキクル
（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）



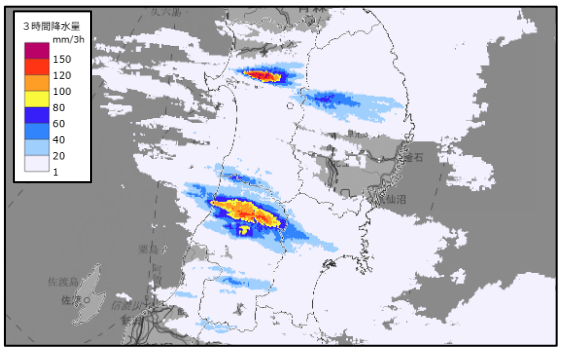
浸水キキクル
（大雨警報（浸水害）の危険度分布）



洪水キキクル
（洪水警報の危険度分布）



参考：3 時間降水量（解析雨量）

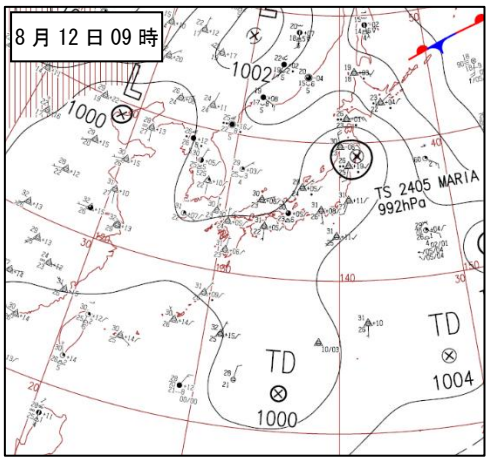


※キキクル（大雨警報・洪水警報の危険度分布）とは、土砂災害、浸水害、洪水災害の発生する危険度の高まりを5段階に色分けして地図表示した情報。

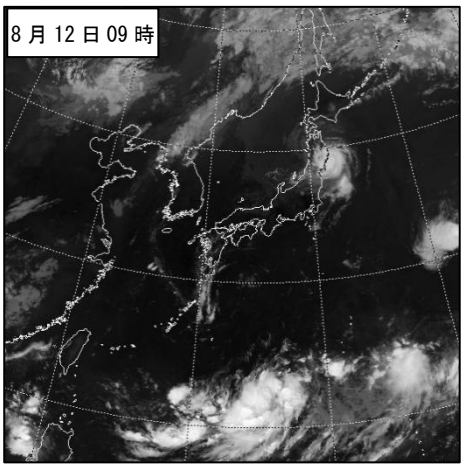
○ 災害番号(3)

台風第5号による東北地方を中心とした大雨等(8 月 10 日～8 月 13 日)

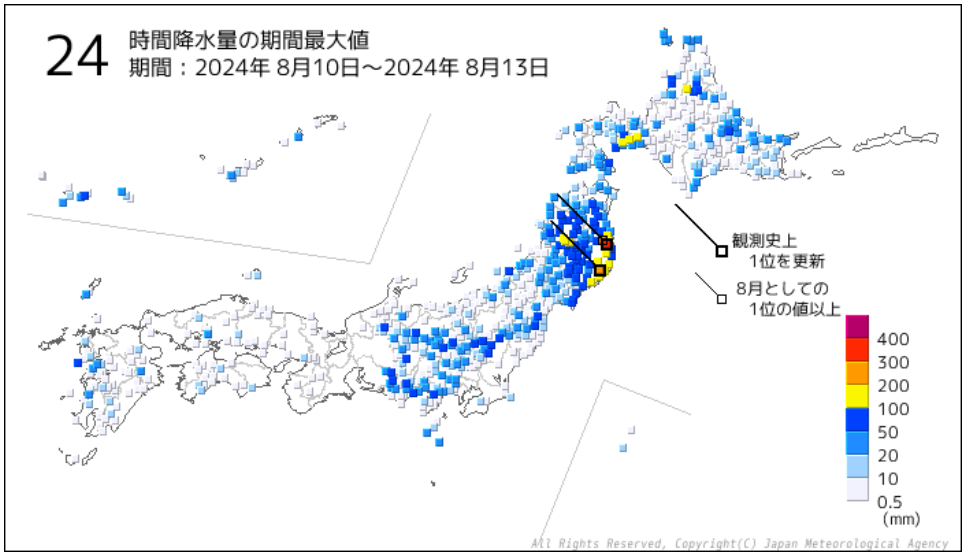
地上天気図



気象衛星画像(赤外)



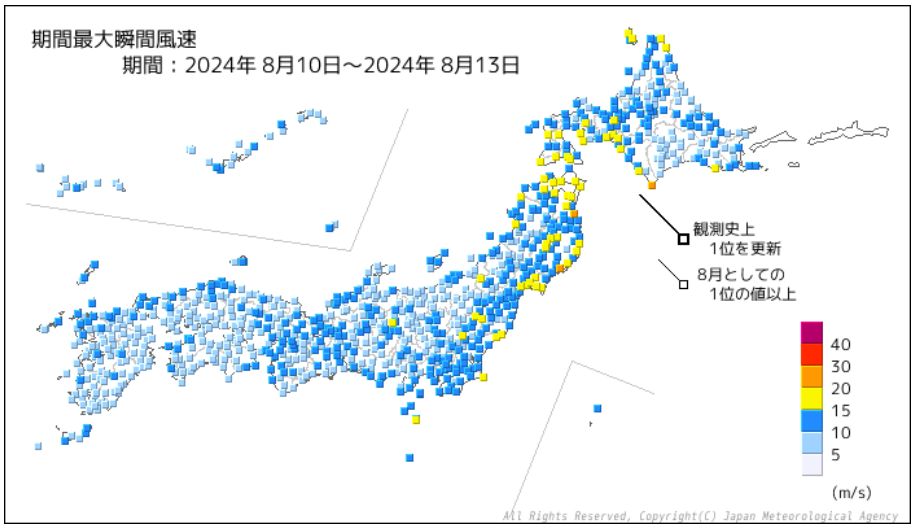
期間最大 24 時間降水量分布図(8 月 10 日～8 月 13 日)



期間最大 24 時間降水量表(上位 10 地点)(8 月 10 日～8 月 13 日)

順位	都道府県	市町村	地点名（読み）	降水量		
				(mm)	年月日	時分
1	岩手県	久慈市	下戸鎖（シモトクサリ）	368.5	2024/8/12	07:20
2	岩手県	上閉伊郡大槌町	大槌（オオツチ）	273.5	2024/8/12	14:10
3	岩手県	久慈市	山形（ヤマガタ）	222.0	2024/8/12	08:20
4	岩手県	下閉伊郡岩泉町	岩泉（イワイズミ）	198.0	2024/8/12	06:00
5	岩手県	宮古市	川井（カワイ）	171.0	2024/8/12	15:30
6	岩手県	釜石市	釜石（カマイシ）	166.5	2024/8/12	12:00
7	北海道 石狩地方	千歳市	支笏湖畔（シコツコハン）	157.5	2024/8/13	22:00
8	北海道 胆振地方	白老郡白老町	森野（モリノ）	153.0	2024/8/13	23:40
9	岩手県	大船渡市	大船渡（オオフナト）	148.5	2024/8/12	17:40
10	岩手県	久慈市	久慈（クジ）	132.5	2024/8/12	05:20

期間最大瞬間風速分布図(8 月 10 日～8 月 13 日)



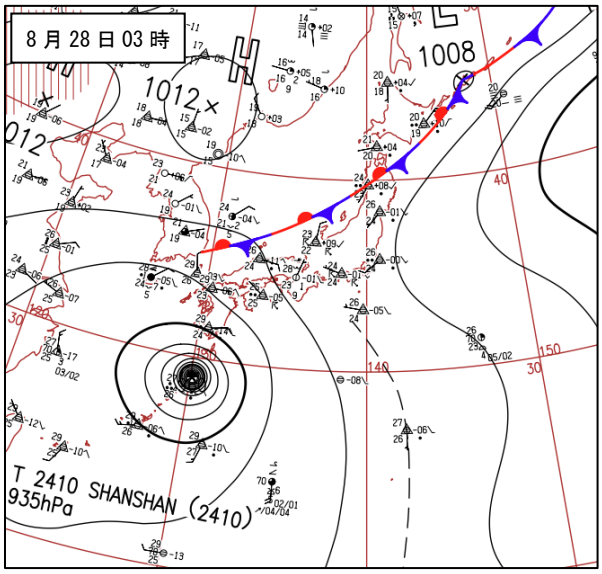
期間最大瞬間風速表(上位 10 地点)(8 月 10 日～8 月 13 日)

順位	都道府県	市町村	地点名（読み）	風速			
				(m/s)	風向	年月日	時分
1	岩手県	大船渡市	大船渡（オオフナト）	27.3	北東	2024/8/12	08:21
2	北海道 日高地方	幌泉郡えりも町	えりも岬（エリモミサキ）	26.9	北北東	2024/8/11	11:29
3	青森県	八戸市	八戸（ハチノヘ）	21.5	北東	2024/8/12	06:15
4	岩手県	宮古市	宮古（ミヤコ）	19.7	北	2024/8/11	18:41
5	宮城県	石巻市	石巻（イシノマキ）	19.2	北	2024/8/11	15:01
6	北海道 胆振地方	室蘭市	室蘭（ムロラン）	19.1	東南東	2024/8/13	03:14
6	北海道 渡島地方	松前郡松前町	松前（マツマエ）	19.1	東北東	2024/8/12	11:47
6	宮城県	仙台市宮城野区	仙台（センダイ）	19.1	北北西	2024/8/11	15:54
9	東京都	三宅村	三宅坪田（ミヤケツボタ）	19.0	西南西	2024/8/11	04:03
10	青森県	五所川原市	五所川原（ゴショガワラ）	18.7	北東	2024/8/12	10:47

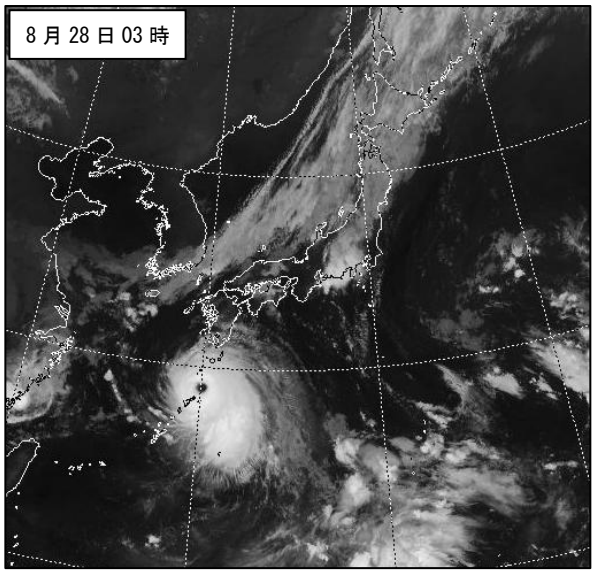
○ 災害番号(4)

台風第 10 号による暴風や大雨等(8 月 27 日～9 月 1 日)

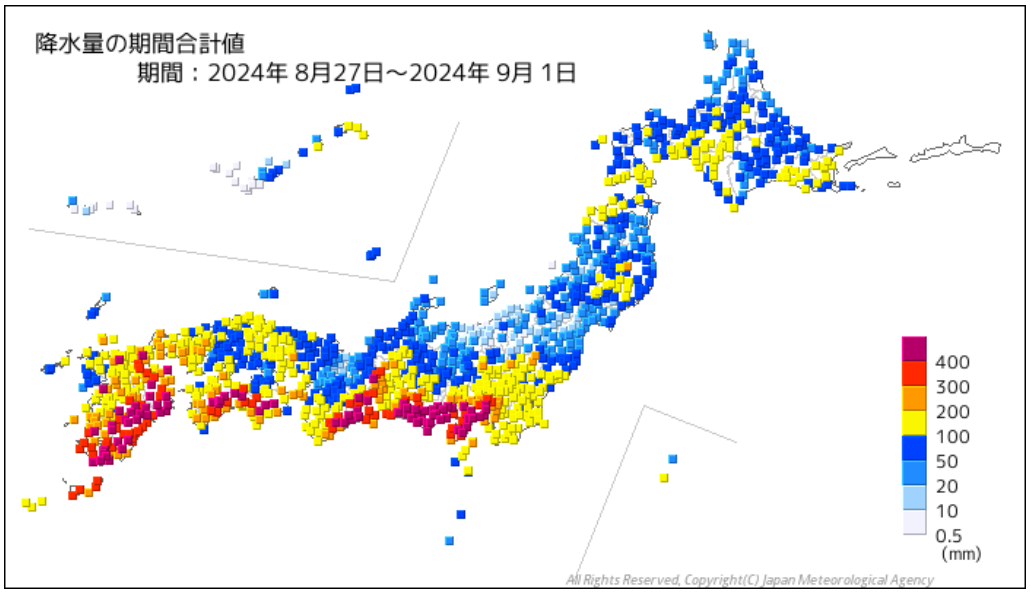
地上天気図



気象衛星画像(赤外)



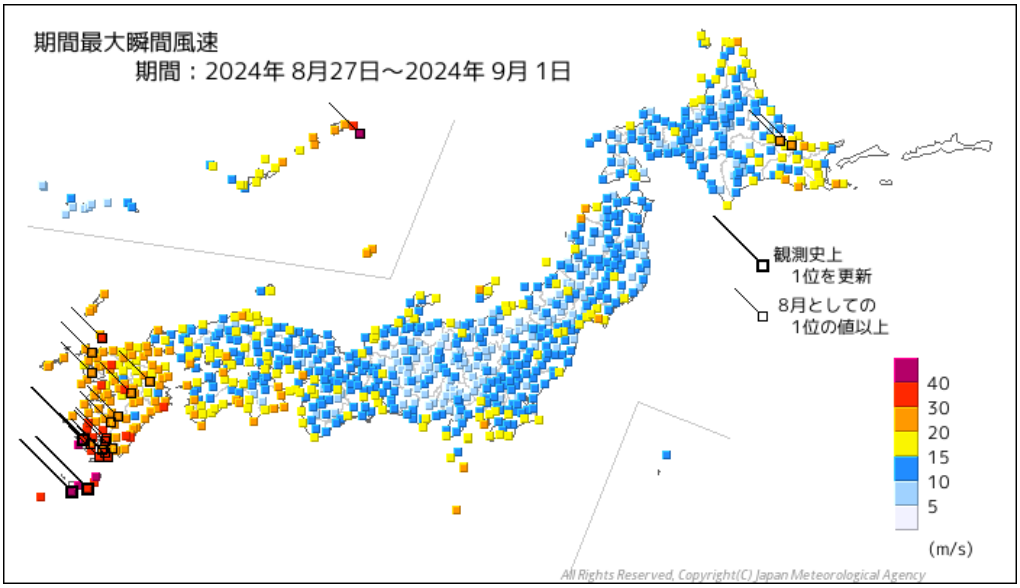
期間総降水量分布図(8 月 27 日～9 月 1 日)



期間総降水量表(上位 10 地点)(8 月 27 日～9 月 1 日)

順位	都道府県	市町村	地点名（読み）	降水量 (mm)
1	静岡県	伊豆市	天城山（アマギサン）	977.5
2	宮崎県	えびの市	えびの高原（エビノコウゲン）	911.0
3	宮崎県	東臼杵郡美郷町	神門（ミカド）	820.5
4	静岡県	静岡市駿河区	静岡（シズオカ）	720.0
5	静岡県	熱海市	網代（アジロ）	711.0
6	静岡県	藤枝市	高根山（タカネサン）	707.0
7	静岡県	牧之原市	静岡空港（シズオカクウコウ）	692.0
8	三重県	多気郡大台町	宮川（ミヤガワ）	691.5
9	徳島県	那賀郡那賀町	木頭（キトウ）	679.5
10	鹿児島県	肝属郡錦江町	田代（タシロ）	672.5

期間最大瞬間風速分布図(8 月 27 日～9 月 1 日)

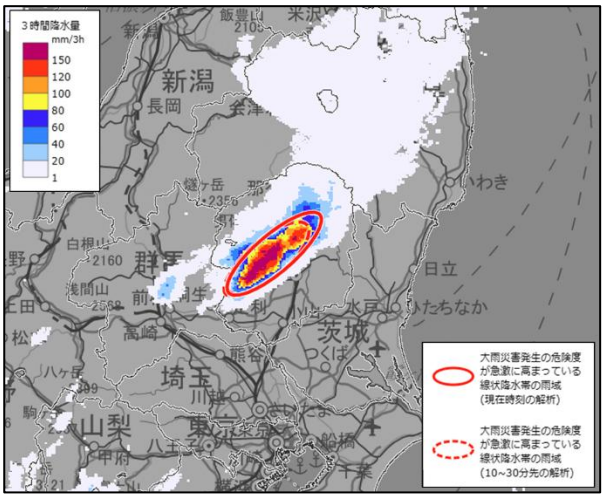


期間最大瞬間風速表(上位 10 地点)(8 月 27 日～9 月 1 日)

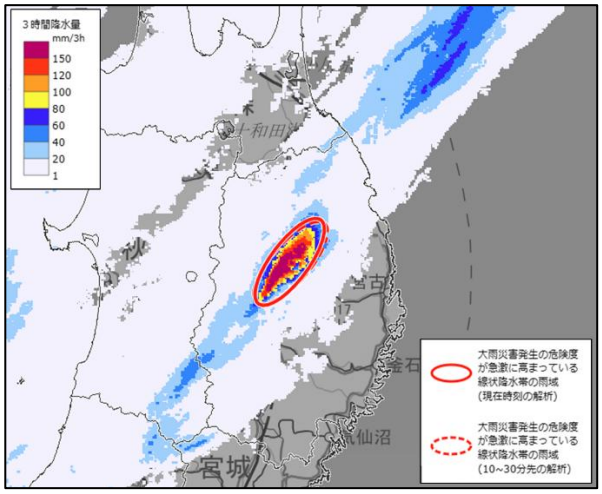
順位	都道府県	市町村	地点名（読み）	風速			
				(m/s)	風向	年月日	時分
1	鹿児島県	枕崎市	枕崎（マクラザキ）	51.5	東南東	2024/8/29	00:53
2	鹿児島県	熊毛郡屋久島町	屋久島（ヤクシマ）	46.8	南東	2024/8/28	20:06
3	鹿児島県	熊毛郡屋久島町	尾之間（オノアイダ）	44.4	東	2024/8/28	12:54
4	鹿児島県	大島郡喜界町	喜界島（キカイジマ）	44.2	西北西	2024/8/27	19:07
5	鹿児島県	西之表市	種子島（タネガシマ）	42.9	南南東	2024/8/28	21:39
6	鹿児島県	肝属郡錦江町	田代（タシロ）	39.0	南南東	2024/8/28	23:41
7	鹿児島県	鹿児島市	鹿児島（カゴシマ）	38.8	南東	2024/8/29	04:53
8	長崎県	雲仙市	雲仙岳（ウンゼンダケ）	38.0	北東	2024/8/29	05:53
9	鹿児島県	南さつま市	加世田（カセダ）	37.3	東南東	2024/8/29	03:28
10	鹿児島県	熊毛郡中種子町	中種子（ナカタネ）	37.0	東南東	2024/8/28	14:23

「顕著な大雨に関する気象情報」発表時における 3 時間降水量(解析雨量)

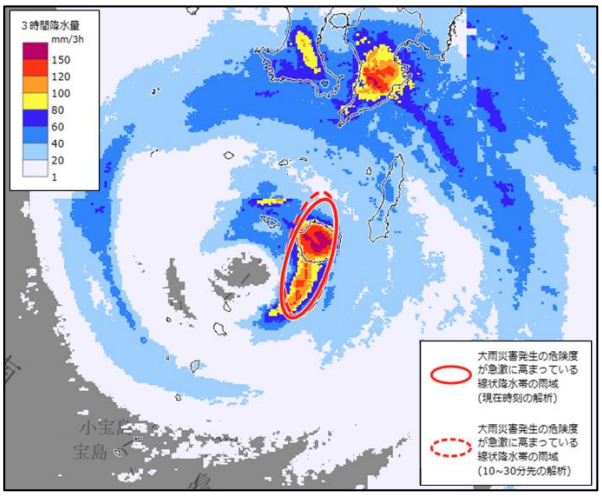
8 月 26 日 01 時 40 分



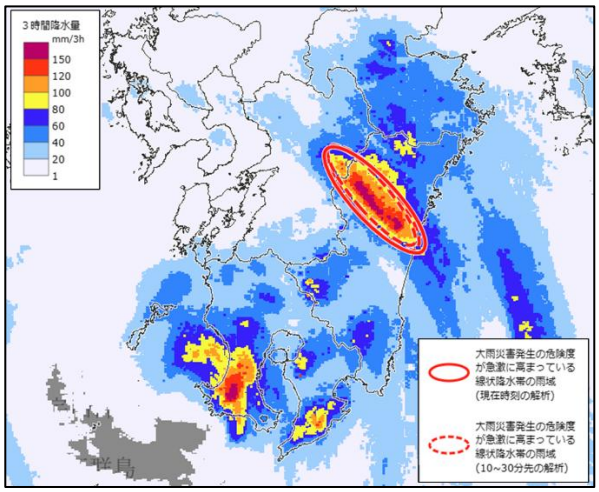
8 月 27 日 20 時 30 分



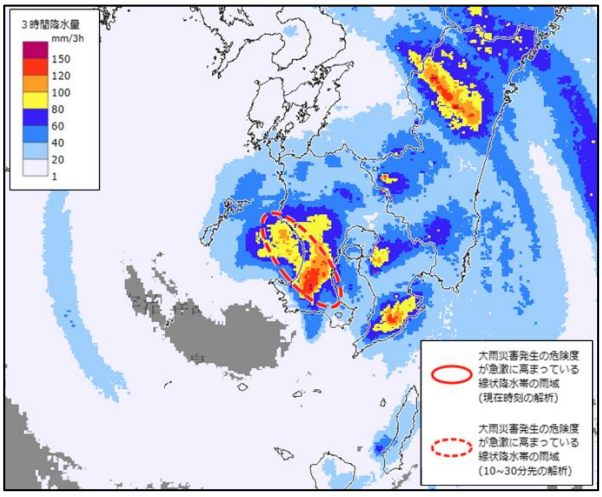
8 月 28 日 20 時 00 分



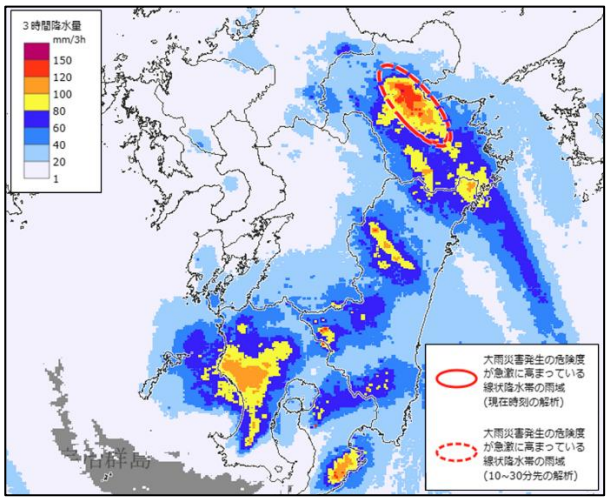
8 月 29 日 04 時 30 分



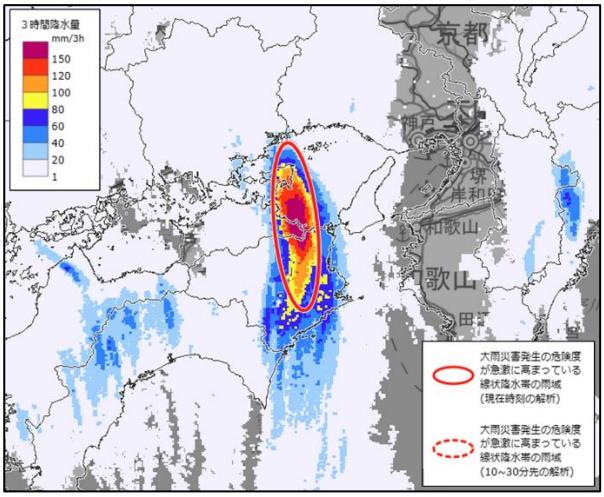
8 月 29 日 05 時 10 分



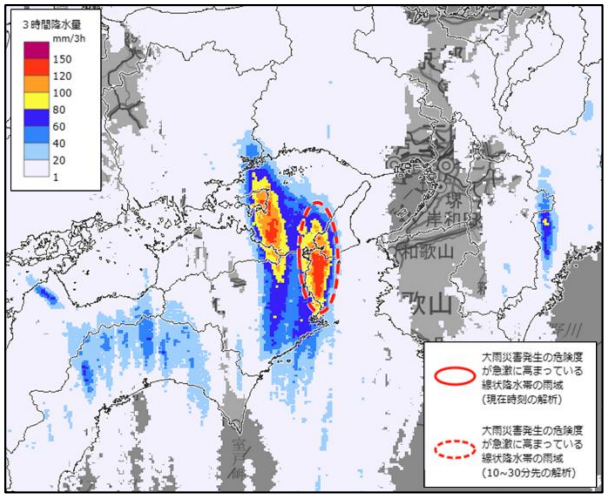
8 月 29 日 06 時 30 分



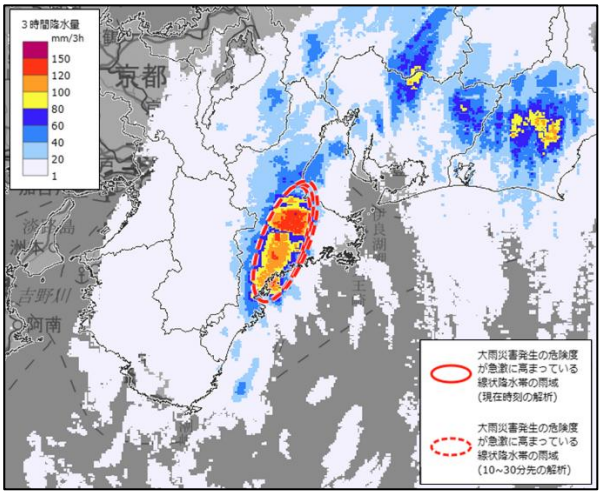
8 月 29 日 19 時 00 分



8 月 29 日 20 時 20 分



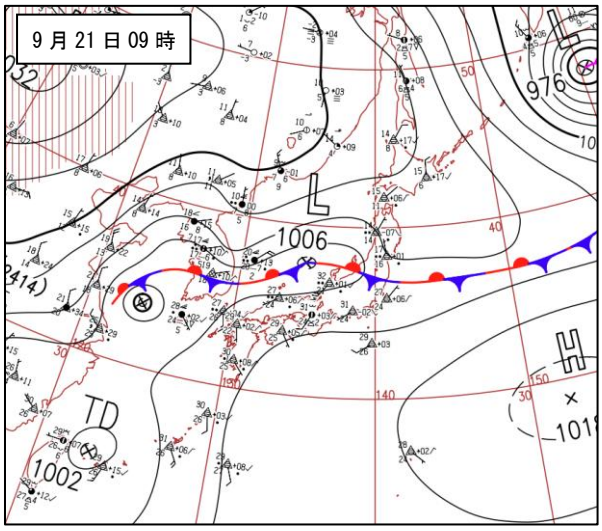
8 月 31 日 13 時 50 分



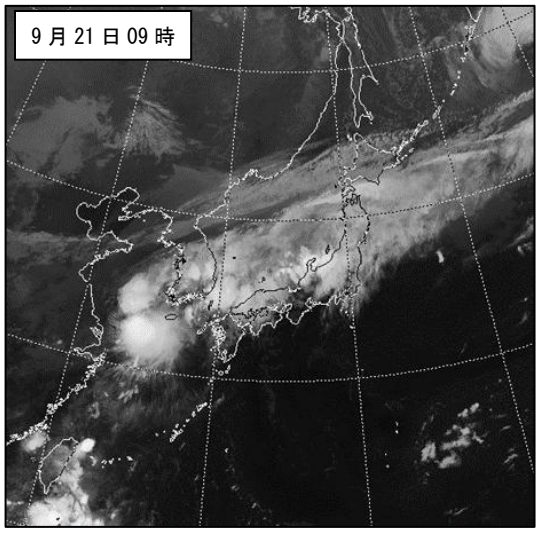
○ 災害番号(5)

低気圧と前線による北陸地方を中心とした大雨(9 月 20 日～9 月 22 日)

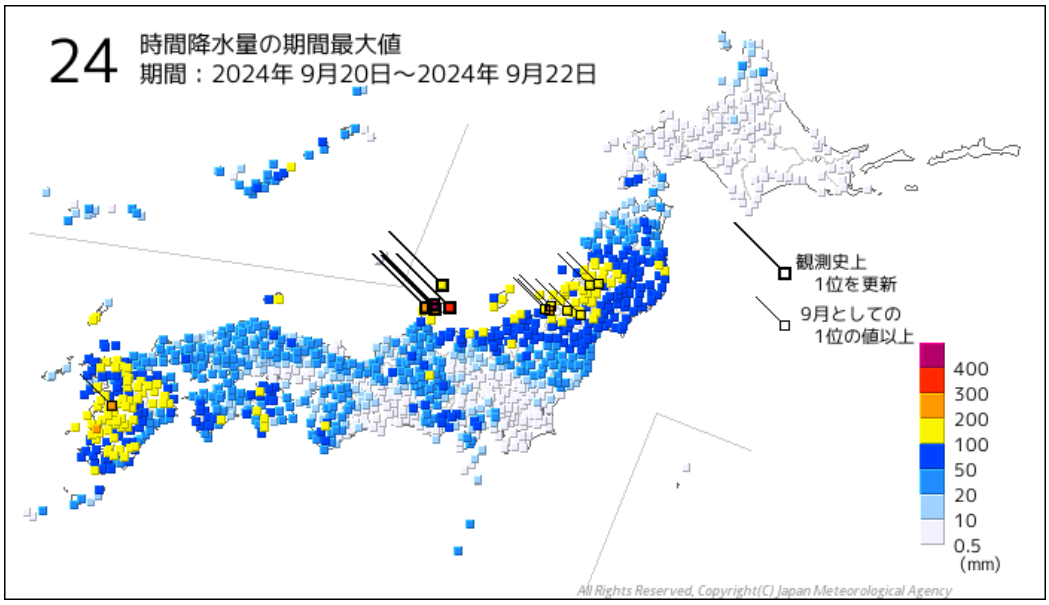
地上天気図



気象衛星画像(赤外)



期間最大 24 時間降水量分布図(9 月 20 日～9 月 22 日)

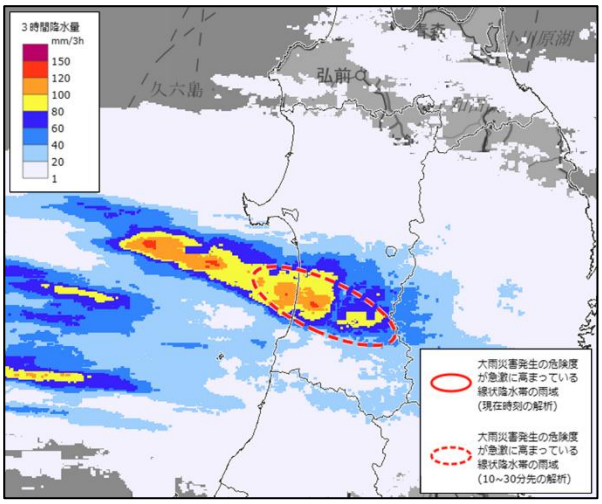


期間最大 24 時間降水量表(上位 10 地点)(9 月 20 日～9 月 22 日)

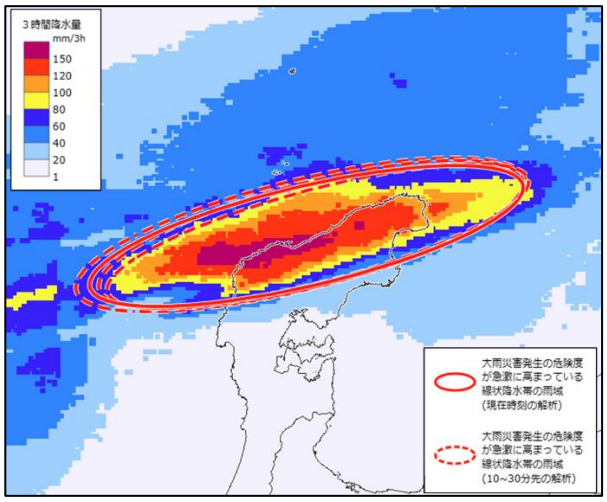
順位	都道府県	市町村	地点名（読み）	降水量		
				(mm)	年月日	時分
1	石川県	輪島市	輪島（ワジマ）	412.0	2024/9/22	08:10
2	石川県	珠洲市	珠洲（スズ）	315.0	2024/9/22	08:50
3	石川県	輪島市	門前（モンゼン）	229.5	2024/9/22	08:20
4	熊本県	宇城市	三角（ミスミ）	228.5	2024/9/22	24:00
5	鹿児島県	薩摩郡さつま町	紫尾山（シビサン）	213.0	2024/9/22	22:00
6	新潟県	村上市	三面（ミオモテ）	211.5	2024/9/21	07:30
7	石川県	輪島市	三井（ミイ）	201.0	2024/9/22	08:40
8	鹿児島県	薩摩川内市	中甑（ナカコシキ）	193.0	2024/9/22	21:00
9	大分県	日田市	椿ヶ鼻（ツバキガハナ）	186.0	2024/9/22	22:50
10	大分県	玖珠郡玖珠町	玖珠（クス）	174.5	2024/9/22	24:00

「顕著な大雨に関する気象情報」発表時における3時間降水量(解析雨量)

9 月 20 日 05 時 40 分



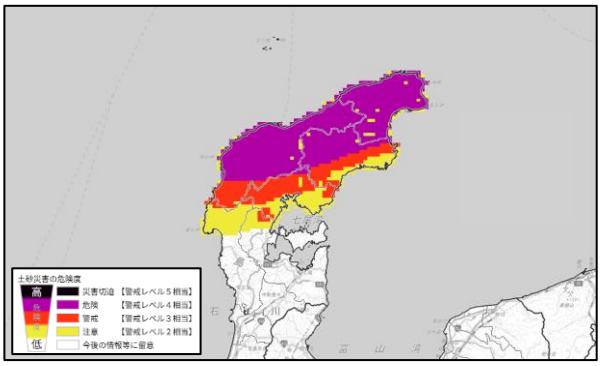
9 月 21 日 10 時 50 分



9 月 21 日 10 時 50 分(石川県輪島市、珠洲市及び能登町に大雨特別警報を発表した時)におけるキキクル(危険度分布)の状況

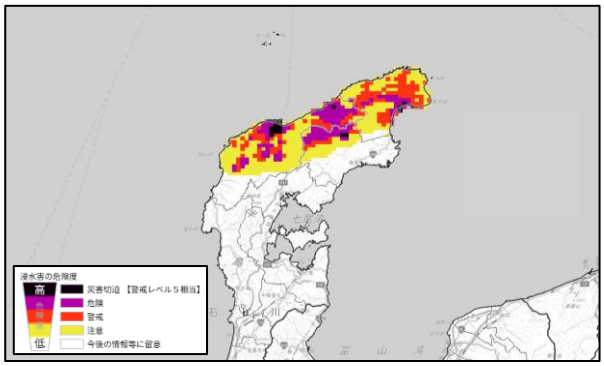
土砂キキクル

(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)



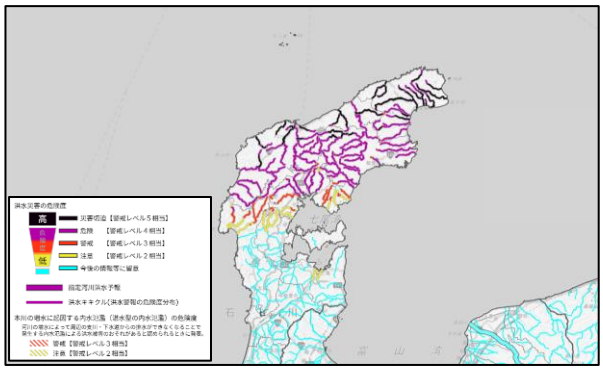
浸水キキクル

(大雨警報(浸水害)の危険度分布)



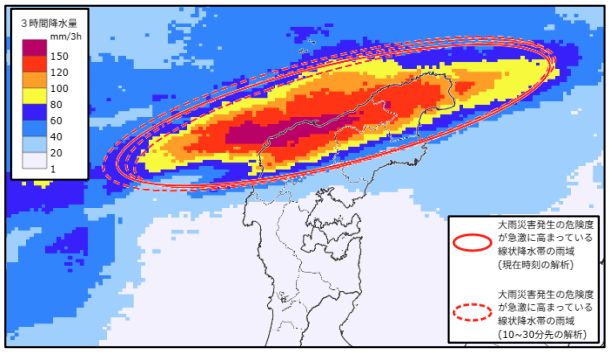
洪水キキクル

(洪水警報の危険度分布)



参考:3 時間降水量(解析雨量)

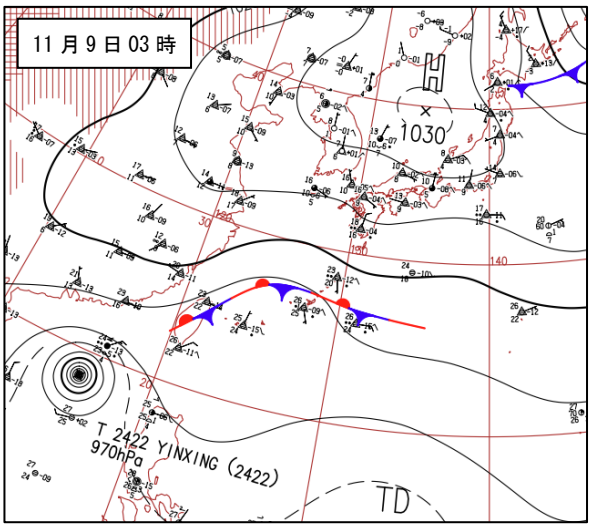
※再掲



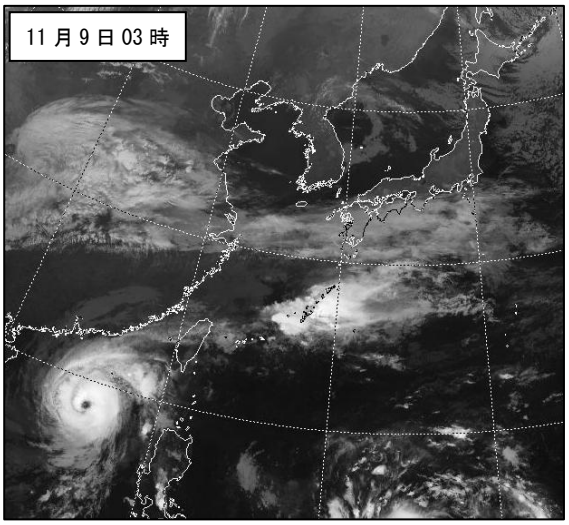
○ 災害番号(6)

暖かく湿った空気による沖縄・奄美の大雨(11 月 8 日～11 月 10 日)

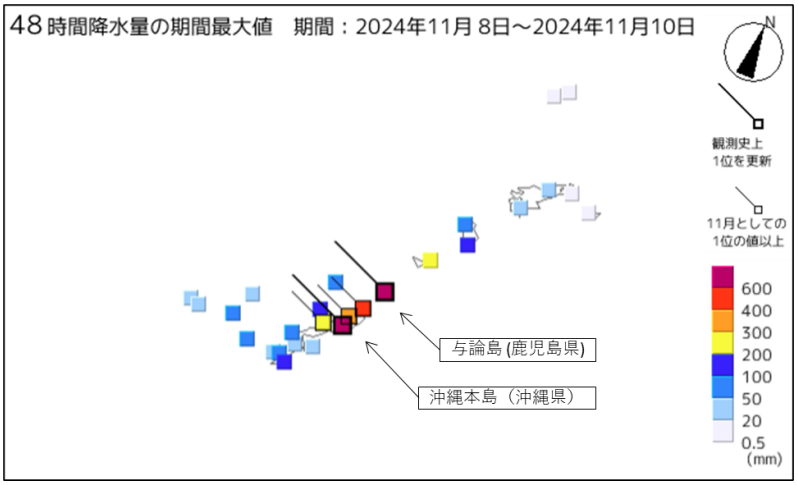
地上天気図



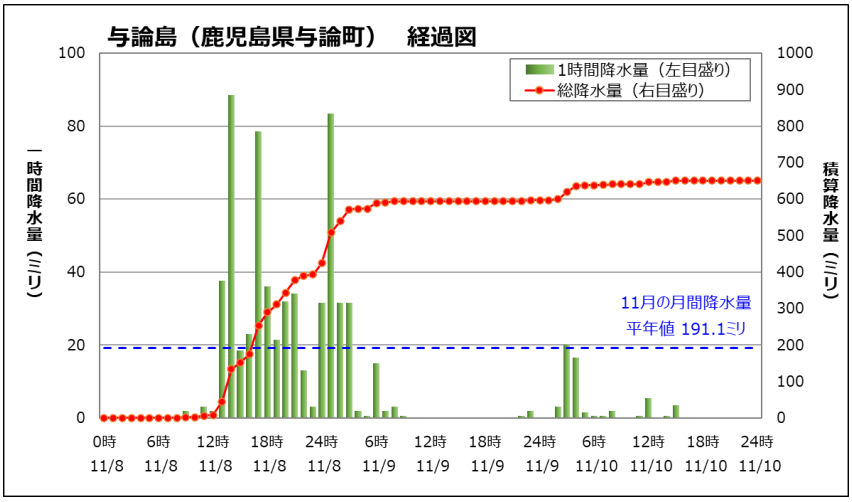
気象衛星画像(赤外)



期間最大 48 時間降水量分布図(11 月 8 日～11 月 10 日)

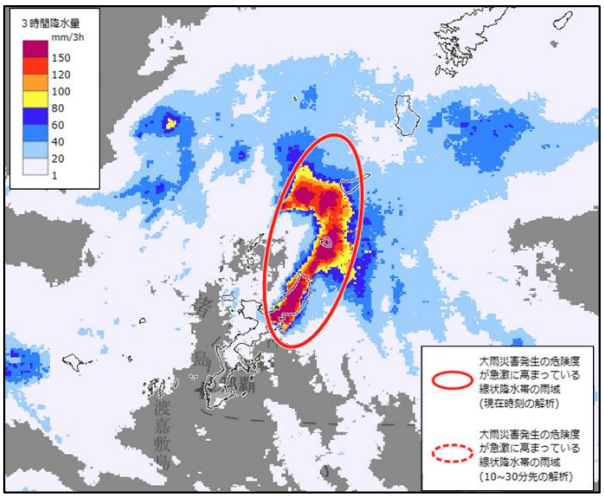


与論島(鹿児島県与論町)の 1 時間降水量と積算降水量の経過(11 月 8 日～10 日)



「顕著な大雨に関する気象情報」発表時における 3 時間降水量（解析雨量）

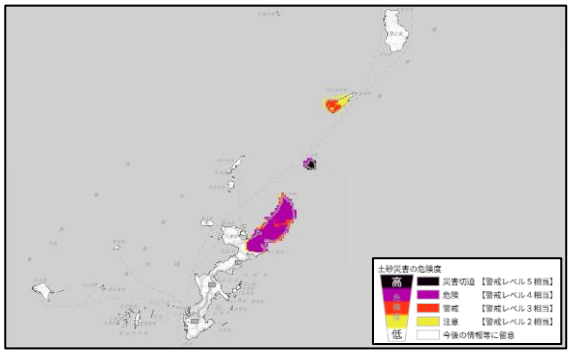
11 月 9 日 02 時 00 分



11 月 9 日 02 時 40 分（鹿児島県与論町に大雨特別警報を発表した時）におけるキキクル（危険度分布）の状況

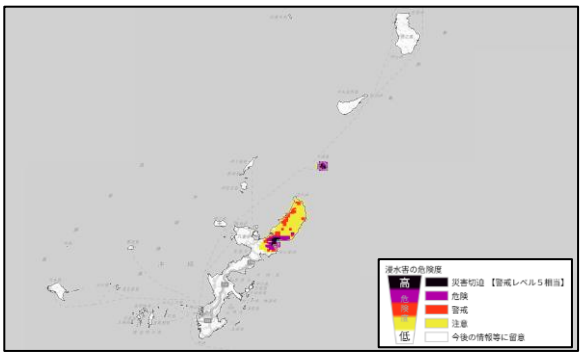
土砂キキクル

（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）



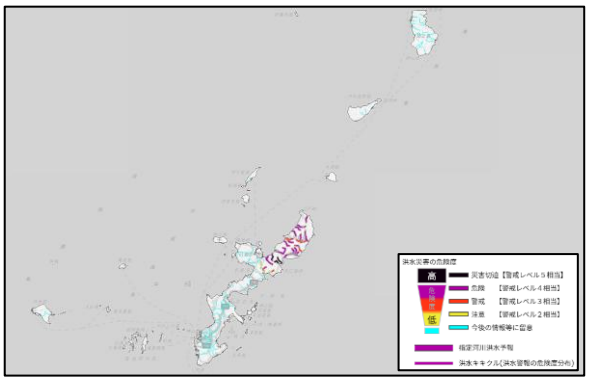
浸水キキクル

（大雨警報（浸水害）の危険度分布）

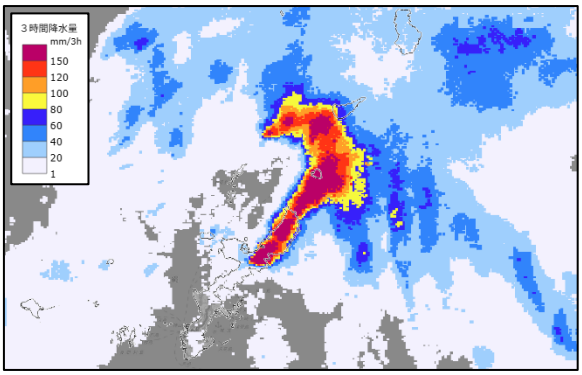


洪水キキクル

（洪水警報の危険度分布）



参考：3 時間降水量（解析雨量）



資料1-2-2　令和6年(2024年)に発生した主な竜巻等の突風

発生日時	現象区別	発生場所	主な被害状況	日本版改良藤田(JEF)スケール	風速	気象状況
4月17日 04時45分頃	不明	静岡県 浜松市	負傷者1名	JEF1	約40m/s	気圧の谷、暖気の移流、雷雨（熱雷を除く）
5月16日 16時50分頃	不明	秋田県 秋田市	負傷者1名	不明	不明	日本海低気圧
5月28日 19時10分頃	不明	山梨県 河口湖町	死者1名	JEF0	約30m/s	低気圧
8月27日 17時00分頃	不明	鳥取県 伯耆町	住家半壊1棟	JEF1	約45m/s	台風、停滞前線
8月28日 13時53分頃	竜巻	宮崎県 宮崎市	負傷者30名、住家半壊20棟※	JEF2	約60m/s	台風
8月28日 22時40分頃	不明	宮崎県 宮崎市	負傷者30名、住家半壊20棟※	JEF1	約50m/s	台風
8月28日 22時50分頃	竜巻	宮崎県 宮崎市	負傷者30名、住家半壊20棟※	JEF2	約60m/s	台風
8月28日 23時05分頃	竜巻	宮崎県 宮崎市	負傷者30名、住家半壊20棟※	JEF2	約65m/s	台風
8月29日 00時00分頃	竜巻	宮崎県 宮崎市	負傷者30名、住家半壊20棟※	JEF2	約65m/s	台風
8月29日 00時40分頃	竜巻	宮崎県 西都市	負傷者3名※	JEF2	約65m/s	台風
8月29日 02時10分頃	竜巻	宮崎県 都農町	負傷者4名、住家半壊1棟※	JEF2	約60m/s	台風
8月29日 03時20分頃	竜巻	宮崎県 門川町	負傷者1名※	JEF1	約45m/s	台風
8月29日 05時00分頃	不明	宮崎県 宮崎市	負傷者30名、住家半壊20棟※	JEF0	約35m/s	台風

被害（死者、負傷者、住家全壊、住家半壊）が発生したものを掲載。※は突風以外の気象現象による被害数を含む。
詳しくは、気象庁ホームページに「竜巻等の突風データベース」を掲載している。
（https://www.data.jma.go.jp/stats/data/bosai/tornado/index.html）

日本版改良藤田スケール（JEFスケール）

日本版改良藤田スケール（JEFスケール）とは、米国シカゴ大学の藤田哲也により1971年に考案された藤田スケールを、日本国内で発生する竜巻等突風の強さをより的確に把握できるようにするため、米国の改良スケールを参考にしつつ、日本の建築物等の特徴を加味し、最新の風工学の知見を取り入れて策定した風速のスケール。

階級	風速(m/s)の範囲（3秒値）	主な被害の状況(参考)
JEF0	25-38	・木造の住宅において、目視でわかる程度の被害、飛散物による窓ガラスの損壊が発生する。比較的狭い範囲の屋根ふき材が浮き上がったり、はく離する。
		・園芸施設において、被覆材(ビニルなど)がはく離する。パイプハウスの鋼管が変形したり、倒壊する。
		・物置が移動したり、横転する。
		・自動販売機が横転する。
		・コンクリートブロック塀(鉄筋なし)の一部が損壊したり、大部分が倒壊する。
		・樹木の枝(直径2cm～8cm)が折れたり、広葉樹(腐朽有り)の幹が折損する。
JEF1	39-52	・木造の住宅において、比較的広い範囲の屋根ふき材が浮き上がったり、はく離する。屋根の軒先又は野地板が破損したり、飛散する。
		・園芸施設において、多くの地域でプラスチックハウスの構造部材が変形したり、倒壊する。
		・軽自動車や普通自動車(コンパクトカー)が横転する。
		・通常走行中の鉄道車両が転覆する。
		・地上広告板の柱が傾斜したり、変形する。
		・道路交通標識の支柱が傾倒したり、倒壊する。
		・コンクリートブロック塀(鉄筋あり)が損壊したり、倒壊する。
		・樹木が根返りしたり、針葉樹の幹が折損する。
JEF2	53-66	・木造の住宅において、上部構造の変形に伴い壁が損傷(ゆがみ、ひび割れ等)する。また、小屋組の構成部材が損壊したり、飛散する。
		・鉄骨造倉庫において、屋根ふき材が浮き上がったり、飛散する。
		・普通自動車(ワンボックス)や大型自動車が横転する。
		・鉄筋コンクリート製の電柱が折損する。
		・カーポートの骨組が傾斜したり、倒壊する。
		・コンクリートブロック塀(控壁のあるもの)の大部分が倒壊する。
		・広葉樹の幹が折損する。
		・墓石の棹石が転倒したり、ずれたりする。
JEF3	67-80	・木造の住宅において、上部構造が著しく変形したり、倒壊する。
		・鉄骨系プレハブ住宅において、屋根の軒先又は野地板が破損したり飛散する、もしくは外壁材が変形したり、浮き上がる。
		・鉄筋コンクリート造の集合住宅において、風圧によってベランダ等の手すりが比較的広い範囲で変形する。
		・工場や倉庫の大規模な庇において、比較的狭い範囲で屋根ふき材がはく離したり、脱落する。
		・鉄骨造倉庫において、外壁材が浮き上がったり、飛散する。
		・アスファルトがはく離・飛散する。
JEF4	81-94	・工場や倉庫の大規模な庇において、比較的広い範囲で屋根ふき材がはく離したり、脱落する。
JEF5	95-	・鉄骨系プレハブ住宅や鉄骨造の倉庫において、上部構造が著しく変形したり、倒壊する。
		・鉄筋コンクリート造の集合住宅において、風圧によってベランダ等の手すりが著しく変形したり、脱落する。

日本版改良藤田スケールに関するガイドライン
（https://www.data.jma.go.jp/stats/data/bosai/tornado/kentoukai/kaigi/2015/1221_kentoukai/guideline.pdf）より

2　令和 6 年（2024 年）台風の概要

2-1　令和 6 年（2024 年）に発生した台風

台風の発生数は平年並の 26 個（平年値 25.1 個）であった。7 月までの発生数は平年より少ない 4 個（平年値 7.8 個）であったが、8 月以降は平年より多い 22 個（平年値 17.3 個）発生し、年間の発生数は平年並となった。日本への台風の接近数は平年並の 11 個（平年値 11.7 個）で、日本への台風の上陸数は 2 個（平年値 3.0 個）であった。

表 2.1　令和 6 年(2024 年)の台風発生数*1、日本への接近数*2、日本への上陸数*3と令和 5 年(2023 年)及び平年値との比較

項目	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
令和 6 年(2024 年)	発生数					2		2	6	8	3	4	1	26
	接近数					1		1	4	4	2	1		11
	上陸数								2					2
令和 5 年(2023 年)	発生数				1	1	1	3	6	2	2		1	17
	接近数					1	2	1	3	3	1			9
	上陸数								1					1
平年値	発生数	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
	接近数				0.2	0.7	0.8	2.1	3.3	3.3	1.7	0.5	0.1	11.7
	上陸数					0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3			3.0

（注）・平年値は、平成 3 年(1991 年)～令和 2 年(2020 年)の 30 年平均。
・日本への接近は 2 か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

発生*1 「発生」は協定世界時（UTC）を基準とする。
接近*2 台風の中心が、国内のいずれかの気象官署等から 300km 以内に入った場合を「接近」という。
上陸*3 台風の中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を「上陸」という。小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は「通過」とする。

資料2-1-1 台風発生数一覧表

年＼月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951	S.26	0	1	1	2	1	1	3	3	2	4	1	2	21 (-)
52	27	0	0	0	0	0	3	3	5	3	6	3	4	27 (0)
53	28	0	1	0	0	1	2	1	6	3	5	3	1	23 (-)
54	29	0	0	1	0	1	0	1	5	5	4	3	1	21 (-)
55	30	1	1	1	1	0	2	7	6	4	3	1	1	28 (+)
56	31	0	0	1	2	0	1	2	5	6	1	4	1	23 (-)
57	32	2	0	0	1	1	1	1	4	5	4	3	0	22 (-)
58	33	1	0	0	1	1	4	7	5	5	3	2	2	31 (+)
59	34	0	1	1	1	0	0	2	5	5	4	2	2	23 (-)
60	35	0	0	0	1	1	3	3	10	3	4	1	1	27 (0)
1961	36	1	0	1	0	2	3	4	6	6	4	1	1	29 (+)
62	37	0	1	0	1	2	0	5	8	4	5	3	1	30 (+)
63	38	0	0	0	1	0	4	4	3	5	4	0	3	24 (0)
64	39	0	0	0	0	2	2	7	5	6	5	6	1	34 (+)
65	40	2	1	1	1	2	3	5	6	7	2	2	0	32 (+)
66	41	0	0	0	1	2	1	4	10	9	5	2	1	35 (+)
67	42	0	1	2	1	1	1	7	9	9	4	3	1	39 (+)
68	43	0	0	0	1	1	1	3	8	3	5	5	0	27 (0)
69	44	1	0	1	1	0	0	3	4	3	3	2	1	19 (-)
70	45	0	1	0	0	0	2	3	6	5	5	4	0	26 (0)
1971	46	1	0	1	3	4	2	8	5	6	4	2	0	36 (+)
72	47	1	0	0	0	1	3	7	5	4	5	3	2	31 (+)
73	48	0	0	0	0	0	0	7	5	2	4	3	0	21 (-)
74	49	1	0	1	1	1	4	4	5	5	4	4	2	32 (+)
75	50	1	0	0	0	0	0	2	4	5	5	3	1	21 (-)
76	51	1	1	0	2	2	2	4	4	5	1	1	2	25 (0)
77	52	0	0	1	0	0	1	3	3	5	5	1	2	21 (-)
78	53	1	0	0	1	0	3	4	8	5	4	4	0	30 (+)
79	54	1	0	1	1	2	0	4	2	6	3	2	2	24 (0)
80	55	0	0	0	1	4	1	4	2	6	4	1	1	24 (0)
1981	56	0	0	1	2	0	3	4	8	4	2	3	2	29 (+)
82	57	0	0	3	0	1	3	3	5	5	3	1	1	25 (0)
83	58	0	0	0	0	0	1	3	5	2	5	5	2	23 (-)
84	59	0	0	0	0	0	2	5	5	4	7	3	1	27 (0)
85	60	2	0	0	0	1	3	1	8	5	4	1	2	27 (0)
86	61	0	1	0	1	2	2	4	4	3	5	4	3	29 (+)
87	62	1	0	0	1	0	2	4	4	6	2	2	1	23 (-)
88	63	1	0	0	0	1	3	2	8	8	5	2	1	31 (+)
89	H. 1	1	0	0	1	2	2	7	5	6	4	3	1	32 (+)
90	2	1	0	0	1	1	3	4	6	4	4	4	1	29 (+)
1991	3	0	0	2	1	1	1	4	5	6	3	6	0	29 (+)
92	4	1	1	0	0	0	2	4	8	5	7	3	0	31 (+)
93	5	0	0	1	0	0	1	4	7	6	4	2	3	28 (+)
94	6	0	0	0	1	1	2	7	9	8	6	0	2	36 (+)
95	7	0	0	0	1	0	1	2	6	5	6	1	1	23 (-)
96	8	0	1	0	1	2	0	6	5	6	2	2	1	26 (0)
97	9	0	0	0	2	3	3	4	6	4	3	2	1	28 (+)
98	10	0	0	0	0	0	0	1	3	5	2	3	2	16 (-)
99	11	0	0	0	2	0	1	4	6	6	2	1	0	22 (-)
2000	12	0	0	0	0	2	0	5	6	5	2	2	1	23 (-)
01	13	0	0	0	0	1	2	5	6	5	3	1	3	26 (0)
02	14	1	1	0	0	1	3	5	6	4	2	2	1	26 (0)
03	15	1	0	0	1	2	2	2	5	3	3	2	0	21 (-)
04	16	0	0	0	1	2	5	2	8	3	3	3	2	29 (+)
05	17	1	0	1	1	1	0	5	5	5	2	2	0	23 (-)
06	18	0	0	0	0	1	2	2	7	3	4	2	2	23 (-)
07	19	0	0	0	1	1	0	3	4	5	6	4	0	24 (0)
08	20	0	0	0	1	4	1	2	4	4	2	3	1	22 (-)
09	21	0	0	0	0	2	2	2	5	7	3	1	0	22 (-)
2010	22	0	0	1	0	0	0	2	5	4	2	0	0	14 (-)
11	23	0	0	0	0	2	3	4	3	7	1	0	1	21 (-)
12	24	0	0	1	0	1	4	4	5	3	5	1	1	25 (0)
13	25	1	1	0	0	0	4	3	6	8	6	2	0	31 (+)
14	26	2	1	0	2	0	2	5	1	5	2	1	2	23 (-)
15	27	1	1	2	1	2	2	3	4	5	4	1	1	27 (0)
16	28	0	0	0	0	0	0	4	7	7	4	3	1	26 (0)
17	29	0	0	0	1	0	1	8	6	3	3	3	2	27 (0)
18	30	1	1	1	0	0	4	5	9	4	1	3	0	29 (+)
19	R.1	1	1	0	0	0	1	4	5	6	4	6	1	29 (+)
2020	2	0	0	0	0	1	1	0	8	3	6	3	1	23 (-)
21	3	0	1	0	1	1	2	3	4	4	4	1	1	22 (-)
22	4	0	0	0	2	0	2	2	5	7	5	1	1	25 (0)
23	5	0	0	0	1	1	1	3	6	2	2	0	1	17 (-)
24	6	0	0	0	0	2	0	2	6	8	3	4	1	26 (0)
平年値 1991-2020		0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1

台風の発生月：熱帯低気圧が台風(風速およそ17m/s以上)となった月とする。
年間の(-)は24個未満、(0)は24個以上28個未満、(+)は28個以上を示す。

資料2-1-2 日本への台風接近数一覧表

年＼月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951	S.26	0	0	0	0	1	1	3	1	1	2	0	0	8
52	27	0	0	0	0	0	1	2	3	2	2	3	0	12
53	28	0	0	0	0	0	1	2	4	1	3	0	0	10
54	29	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	1	0	10
55	30	0	0	0	1	0	0	7	3	1	4	0	1	16
56	31	0	0	0	1	0	0	1	3	6	0	0	0	10
57	32	0	0	0	0	0	1	0	3	3	2	2	0	10
58	33	0	0	0	0	0	4	5	2	3	0	1	0	15
59	34	0	0	0	1	0	0	1	3	3	3	2	0	13
60	35	0	0	0	0	0	3	2	11	1	2	0	1	19
1961	36	0	0	0	0	1	2	2	4	4	3	0	0	15
62	37	0	0	0	0	1	0	4	6	2	1	1	0	14
63	38	0	0	0	0	0	3	2	2	2	3	0	0	12
64	39	0	0	0	0	0	0	3	3	1	1	0	0	8
65	40	0	0	0	0	1	3	1	4	4	1	1	0	15
66	41	0	0	0	0	2	2	1	7	8	1	0	0	19
67	42	0	0	0	1	0	0	3	4	3	2	1	0	13
68	43	0	0	0	0	0	1	2	2	4	1	0	0	10
69	44	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	2	0	8
70	45	0	0	0	0	0	0	2	4	3	0	0	0	9
1971	46	0	0	0	1	1	0	2	3	5	1	1	0	13
72	47	0	0	0	0	0	0	3	3	2	3	0	0	11
73	48	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4
74	49	0	0	0	0	0	1	3	4	3	0	0	0	10
75	50	0	0	0	0	0	0	1	4	1	2	2	0	9
76	51	0	0	0	1	2	2	5	2	1	0	2	0	13
77	52	0	0	0	0	0	0	1	4	2	0	0	0	6
78	53	0	0	0	0	0	2	3	6	3	1	1	0	14
79	54	0	0	0	0	1	0	0	2	2	3	0	0	7
80	55	0	0	0	0	1	0	0	2	3	2	1	0	9
1981	56	0	0	0	0	0	2	3	3	2	2	1	0	11
82	57	0	0	0	0	1	2	3	4	3	1	0	0	13
83	58	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	1	0	7
84	59	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	1	9
85	60	0	0	0	0	1	1	2	7	2	2	0	0	12
86	61	0	0	0	0	1	1	2	3	3	1	1	0	12
87	62	0	0	0	0	0	1	5	2	1	2	0	0	10
88	63	0	0	0	0	0	2	1	4	4	2	0	0	13
89	H. 1	0	0	0	0	0	1	3	4	3	1	0	0	11
90	2	0	0	0	0	1	1	1	5	3	1	1	1	14
1991	3	0	0	0	0	1	0	1	4	5	2	1	0	14
92	4	0	0	0	0	0	1	1	5	3	2	3	0	14
93	5	0	0	0	0	0	0	3	2	2	2	0	0	9
94	6	0	0	0	0	1	0	4	6	3	2	2	0	15
95	7	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
96	8	0	0	0	0	2	0	3	2	3	1	1	0	10
97	9	0	0	0	1	1	3	1	3	3	2	1	0	15
98	10	0	0	0	0	0	0	0	2	5	1	0	0	8
99	11	0	0	0	1	0	0	3	4	3	0	1	0	11
2000	12	0	0	0	0	2	0	4	4	3	1	1	0	15
01	13	0	0	0	0	1	0	2	2	4	2	0	0	11
02	14	0	0	0	0	0	1	6	2	3	1	1	0	13
03	15	0	0	0	1	1	2	0	2	3	1	1	1	12
04	16	0	0	0	1	1	3	3	6	3	3	0	1	19
05	17	0	0	0	1	0	1	2	3	4	2	0	0	12
06	18	0	0	0	0	0	0	3	4	2	1	0	0	10
07	19	0	0	0	0	1	0	1	4	3	3	0	0	12
08	20	0	0	0	0	3	1	2	1	2	1	0	0	9
09	21	0	0	0	0	1	0	0	3	3	2	0	0	8
2010	22	0	0	0	0	0	0	0	3	4	1	0	0	7
11	23	0	0	0	0	2	1	1	2	4	0	0	0	9
12	24	0	0	0	0	1	3	3	6	3	4	0	0	17
13	25	0	0	0	0	0	2	1	2	4	6	0	0	14
14	26	0	0	0	0	0	2	3	2	3	2	1	0	12
15	27	0	0	0	0	2	0	3	4	4	0	1	0	14
16	28	0	0	0	0	0	0	1	5	4	1	0	0	11
17	29	0	0	0	0	0	0	4	2	2	2	0	0	8
18	30	0	0	0	0	0	2	4	7	2	2	1	0	16
19	R.1	0	0	0	0	0	1	2	3	5	4	1	0	15
2020	2	0	0	0	0	0	0	0	4	3	1	0	0	7
21	3	0	0	0	1	0	2	2	3	1	2	0	1	12
22	4	0	0	0	1	0	0	3	3	6	0	0	0	11
23	5	0	0	0	0	1	2	1	3	3	1	0	0	9
24	6	0	0	0	0	1	0	1	4	4	2	1	0	11
平年値 1991-2020		-	-	-	0.2	0.7	0.8	2.1	3.3	3.3	1.7	0.5	0.1	11.7

台風の接近：台風の中心が日本から概ね300km以内に入った場合をいう。
接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

資料2-1-3 北海道・本州・四国・九州への台風接近数一覧表

年＼月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951	S.26	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	4
52	27	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	1	0	7
53	28	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
54	29	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	6
55	30	0	0	0	0	0	0	5	1	1	4	0	0	10
56	31	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	5
57	32	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	5
58	33	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	5
59	34	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	6
60	35	0	0	0	0	0	1	0	5	1	0	0	0	7
1961	36	0	0	0	0	0	1	2	3	1	1	0	0	7
62	37	0	0	0	0	0	0	1	6	1	0	0	0	8
63	38	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	6
64	39	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
65	40	0	0	0	0	1	1	0	2	4	0	1	0	9
66	41	0	0	0	0	1	2	0	2	4	1	0	0	9
67	42	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	5
68	43	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	5
69	44	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
70	45	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	5
1971	46	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	6
72	47	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	6
73	48	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
74	49	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	4
75	50	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	4
76	51	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	4
77	52	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
78	53	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	0	0	7
79	54	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	5
80	55	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
1981	56	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	6
82	57	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1	0	0	6
83	58	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
84	59	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
85	60	0	0	0	0	0	1	1	4	2	1	0	0	6
86	61	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5
87	62	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	5
88	63	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	0	6
89	H. 1	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	0	7
90	2	0	0	0	0	0	0	1	3	2	1	1	0	8
1991	3	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	0	0	9
92	4	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	0	0	5
93	5	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1	0	0	8
94	6	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0	6
95	7	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
96	8	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4
97	9	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0	0	0	6
98	10	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	6
99	11	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
2000	12	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	5
01	13	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	4
02	14	0	0	0	0	0	1	4	2	0	1	0	0	8
03	15	0	0	0	1	1	1	0	1	2	0	0	0	6
04	16	0	0	0	0	1	2	1	4	2	3	0	0	12
05	17	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
06	18	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
07	19	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	5
08	20	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
09	21	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	4
2010	22	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
11	23	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	5
12	24	0	0	0	0	0	1	0	3	2	1	0	0	6
13	25	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3	0	0	6
14	26	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	0	0	5
15	27	0	0	0	0	1	0	2	1	2	0	0	0	6
16	28	0	0	0	0	0	0	0	5	3	1	0	0	9
17	29	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	5
18	30	0	0	0	0	0	1	2	5	2	2	0	0	10
19	R.1	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	0	0	8
2020	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	5
21	3	0	0	0	0	0	0	1	3	1	1	0	0	6
22	4	0	0	0	0	0	0	2	2	3	0	0	0	7
23	5	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4
24	6	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	4
平年値 1991-2020		−	−	−	0.0	0.2	0.4	1.0	1.6	1.9	0.9	−	−	5.8

台風の北海道・本州・四国・九州への接近：台風の中心が北海道・本州・四国・九州から概ね300km以内に入った場合をいう。
接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

資料2-1-4 日本への台風上陸数一覧表

年＼月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951	S.26	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
52	27	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
53	28	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
54	29	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	5
55	30	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	4
56	31	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
57	32	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
58	33	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
59	34	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
60	35	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4
1961	36	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
62	37	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	5
63	38	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
64	39	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
65	40	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	5
66	41	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	5
67	42	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
68	43	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
69	44	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
70	45	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
1971	46	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
72	47	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
73	48	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
74	49	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
75	50	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
76	51	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
77	52	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
78	53	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
79	54	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
80	55	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
1981	56	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
82	57	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	4
83	58	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
84	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85	60	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
86	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
87	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
88	63	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
89	H. 1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	5
90	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	6
1991	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
92	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
93	5	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	6
94	6	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
95	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
96	8	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
97	9	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	4
98	10	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4
99	11	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
2000	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
01	13	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
02	14	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
03	15	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
04	16	0	0	0	0	0	2	1	3	2	2	0	0	10
05	17	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
06	18	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
07	19	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
08	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
09	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
2010	22	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
11	23	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
12	24	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
13	25	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
14	26	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	4
15	27	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4
16	28	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	6
17	29	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4
18	30	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	5
19	R.1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	5
2020	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
22	4	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
23	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
24	6	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
平年値 1991-2020		－	－	－	－	0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3	－	－	3.0

台風の日本への上陸：台風の中心が北海道・本州・四国・九州の海岸線に達した場合をいう。
小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は通過とする。

資料2-1-5　令和6年(2024年)に発生した台風の一覧表

台風番号	台風名	熱帯低気圧の発生			台風の発生			台風期間中の最低(大)値						熱帯低気圧または温帯低気圧となった日時と位置				消滅前の最後に確認された日時と位置、又は域外に出た最初の日時		
								海面気圧		風速		強風半径								
		月 日 時	北緯	東経	月 日 時	北緯	東経	月 日 時	hPa	月 日 時	m/s	月 日 時	方位:km	月 日 時	北緯	東経	種類	月 日 時	北緯	東経
1	EWINIAR	5 24 03	8.3	129.6	5 25 21	13.4	122.3	5 28 03	970	5 27 09	40	5 30 21	SE:330 NW:110	5 31 03	31.4	137.7	L	6 2 21	域外	
2	MALIKSI	5 30 09	18.0	111.9	5 31 09	19.8	112.6	5 31 15	998	5 31 15	18	5 31 15	S:330 N:110	5 31 21	21.2	111.3	TD	6 5 15	24.8	139.0
3	GAEMI	7 19 09	11.4	133.1	7 20 09	15.5	128.5	7 24 15	935	7 24 15	45	7 26 21	S:750 N:500	7 27 03	27.9	115.9	TD	7 29 03	30.2	108.7
4	PRAPIROON	7 20 09	14.6	115.6	7 21 09	16.0	111.3	7 23 03	985	7 23 03	30	7 23 15	220	7 23 21	21.5	106.7	TD	7 25 03	20.8	107.4
5	MARIA	8 5 15	24.0	140.8	8 8 03	25.7	142.7	8 12 03	980	8 10 03	30	8 11 09	NE:520 SW:330	8 12 15	39.9	140.5	TD	8 14 21	41.6	141.5
6	SON-TINH	8 10 21	26.5	154.1	8 11 09	27.4	155.1	8 11 21	994	8 11 21	20	8 13 03	E:330 W:110	8 13 21	37.0	146.0	TD	8 17 09	域外	
7	AMPIL	8 11 21	21.7	134.9	8 12 21	23.1	136.6	8 17 09	950	8 17 09	45	8 19 03	E:750 W:500	8 19 09	44.2	162.5	L	8 21 15	域外	
8	WUKONG	8 12 03	23.9	146.7	8 13 09	26.4	150.1	8 14 15	1002	8 14 15	18	8 14 03	SE:220 NW:170	8 14 21	31.8	147.2	TD	8 19 15	域外	
9	JONGDARI	8 18 09	23.5	126.8	8 18 21	24.1	126.4	8 20 03	996	8 20 09	20	8 21 03	SE:280 NW:170	8 21 09	37.7	126.1	TD	8 22 21	44.7	138.3
10	SHANSHAN	8 20 15	14.8	147.7	8 22 03	16.6	142.2	8 28 21	935	8 28 18	50	8 30 06	390	8 30 21	34.0	133.6	TD	9 1 21	35.1	136.3
11	YAGI	8 31 21	12.1	128.9	9 1 15	13.1	125.1	9 6 15	915	9 6 15	55	9 6 21	440	9 8 21	21.5	104.2	TD	9 9 21	21.7	100.7
12	LEEPI	9 1 21	22.2	147.1	9 5 09	32.2	145.9	9 5 15	1002	9 6 15	18	9 6 15	SE:170 NW:60	9 6 21	37.8	151.1	TD	9 9 03	域外	
13	BEBINCA	9 10 03	10.1	147.8	9 10 21	12.8	145.4	9 15 21	965	9 15 21	40	9 13 21	E:650 W:330	9 17 09	32.4	117.2	TD	9 18 15	33.8	115.1
14	PULASAN	9 15 09	12.1	144.6	9 15 21	12.8	144.3	9 18 15	992	9 18 15	23	9 16 03	NE:850 SW:500	9 21 15	33.9	125.3	L	9 25 03	域外	
15	SOULIK	9 15 09	16.7	126.0	9 19 03	17.5	110.0	9 19 15	992	9 19 15	18	9 19 15	110	9 19 21	16.9	106.9	TD	9 20 21	17.1	103.9
16	CIMARON	9 23 15	29.1	129.3	9 24 15	27.8	134.2	9 26 09	998	9 26 09	18	9 25 21	330	9 26 15	28.0	132.0	TD	9 30 15	32.3	138.5
17	JEBI	9 26 03	14.8	148.9	9 27 09	17.2	146.1	10 2 03	980	10 2 03	35	10 1 09	E:390 W:170	10 2 21	49.0	157.0	L	10 3 03	51.7	162.2
18	KRATHON	9 26 21	21.7	127.5	9 28 09	18.5	125.3	10 1 15	920	10 1 15	55	9 30 03	E:500 W:330	10 3 21	22.8	120.6	TD	10 3 21	22.8	120.6
19	BARIJAT	10 5 03	11.6	148.2	10 6 15	17.8	145.2	10 11 03	985	10 11 03	23	10 11 03	E:440 W:280	10 11 09	42.0	154.0	L	10 15 21	域外	
20	TRAMI	10 18 21	13.2	141.0	10 22 03	13.2	128.3	10 26 15	970	10 26 15	30	10 23 21	N:750 S:560	10 28 03	15.4	107.8	TD	10 29 21	16.9	109.5
21	KONG-REY	10 24 09	12.7	150.1	10 25 03	13.5	145.7	10 30 09	925	10 30 09	50	10 26 15	E:750 W:500	11 1 21	30.1	123.4	L	11 2 09	31.0	128.0
22	YINXING	11 3 03	8.2	140.0	11 3 21	11.0	136.1	11 7 15	945	11 7 15	50	11 4 09	N:330 S:280	11 12 15	14.1	109.4	TD	11 12 21	14.0	108.7
23	TORAJI	11 8 15	14.5	137.6	11 9 15	14.6	131.6	11 11 09	980	11 11 09	35	11 12 15	N:330 S:220	11 14 21	21.2	113.6	TD	11 15 21	20.3	113.7
24	MAN-YI	11 8 03	10.3	168.5	11 9 03	12.2	161.9	11 16 21	920	11 16 21	55	11 16 09	NE:390 SW:330	11 19 21	18.1	112.0	TD	11 20 09	16.5	110.6
25	USAGI	11 9 09	6.7	151.4	11 12 03	12.6	135.0	11 14 09	940	11 14 09	50	11 12 15	N:330 S:280	11 16 09	22.3	120.4	TD	11 16 21	22.2	120.5
26	PABUK	12 22 03	10.1	115.3	12 22 15	10.5	114.2	12 24 21	1002	12 24 21	18	12 23 15	N:500 S:220	12 25 03	11.1	111.3	TD	12 25 21	9.4	110.2

表中の日時はすべて日本時(JST)。
「台風期間中の最低(大)値」の起時は、最低(大)となった最後の時刻である。
(但し、風速はノットで解析し、5m/s単位に換算、強風半径は海里で解析し、10km単位に換算しているため、必ずしもこれに当てはまらない事がある。)
強風半径とは、風速15 m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲の半径。
種類欄の「TD」は熱帯低気圧、「L」は温帯低気圧を表す。
域外とは、東経180°より東側、東経100°より西側、又は北緯60°より北側の領域。

2-2 令和 6 年（2024 年）に日本に影響した主な台風

日本に影響*した主な台風について以下に概要を示す。

＊ここでは6時間ごとのベストトラックを用いた判定で台風の中心が国内のいずれかの気象官署等から500km 以内に入った場合をいう。

(1) 台風第1号（2401 EWINIAR）

5月24日03時にミンダナオ島の東で発生した熱帯低気圧は北西へ進み、25日21時にフィリピンで台風第1号となった。台風は進路を北東へ変えた後、27日09時にフィリピン付近で最大勢力となった。その後も北東へ進み、31日03時までに日本の南で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧は加速しながら東北東へ進み、アリューシャンの南へ進んで6月2日21時までに東経180度を越えた。

(2) 台風第3号（2403 GAEMI）

7月19日09時にフィリピンの東で発生した熱帯低気圧は北西へ進み、20日09時に同海域で台風第3号となった。台風は北へ進んだ後、北西へ進み、24日12時に与那国島の南で最大勢力となった。その後25日00時過ぎに台湾に上陸し、急速に勢力を弱めた。台風は台湾海峡を通過後、25日21時頃に華南に上陸し、27日03時に華中で熱帯低気圧に変わり、29日09時に消滅した。

(3) 台風第5号（2405 MARIA）

8月5日15時に小笠原諸島近海で発生した熱帯低気圧は北西へ進み、次第に進路を東へ変えた後、8日03時に同海域で台風第5号となった。台風は、北東へ進んだ後、次第に進路を北へ変えて進み、9日03時に同海域で最大勢力となった。その後、次第に進路を北西へ変え、12日08時半頃に岩手県大船渡市付近に上陸した後、東北地方を横断しながら12日15時に熱帯低気圧に変わり、日本海へ進んだ。熱帯低気圧はゆっくりと北へ進み、進路を東へ変えて津軽海峡を進み、15日03時に北海道の南で消滅した。

(4) 台風第7号（2407 AMPIL）

8月11日21時に日本の南で発生した熱帯低気圧は北東へ進み、12日21時に同海域で台風第7号となった。台風は進路を北へ変えて進み、15日21時に日本の東で最大勢力となった後、伊豆諸島付近で進路を北東へ変えて進み、19日09時までに千島の東で温帯低気圧に変わった。その後北へ進んでベーリング海へ進み、進路を北東へ変えて、21日15時までに北緯60度を越えた。

(5) 台風第9号（2409 JONGDARI）

8月18日09時に沖縄の南で発生した熱帯低気圧は、同日21時に同海域で台風第9号となった。その後北へ進んで東シナ海へ進み、19日15時に同海域で最大勢力となった。台風は黄海へ進み、進路を北東へ変えた後、21日09時に朝鮮半島付近で熱帯低気圧に変わった。その後朝鮮半島を横断して日本海へ進んで22日09時までに温帯低気圧に変わり、23日03時に同海域で消滅した。

(6) 台風第10号（2410 SHANSHAN）

8月20日15時にマリアナ諸島近海で発生した熱帯低気圧は西へ進み、22日03時に同海域で台風第10号とな

った。台風は北へ進んだ後、次第に進路を北西へ変えて進み、28日00時に奄美大島の北東で最大勢力となった。その後次第に進路を北へ変えて進み、29日08時頃に強い勢力で鹿児島県薩摩川内市付近に上陸した。上陸後は急速に勢力を弱めながら九州を北東へ進んだ後東へ進み、30日21時に四国で熱帯低気圧に変わった。その後南東へ進み、東海道沖へ進んだ後、進路を北に変え、9月2日03時に本州で消滅した。

(7) 台風第13号(2413 BEBINCA)

9月10日03時にマリアナ諸島近海で発生した熱帯低気圧は北西へ進んで、同日21時に同海域で台風第13号となり、日本の南へ進んだ。奄美大島付近を通過した後、15日09時に東シナ海で最大勢力となった。その後も北西へ進み、16日09時頃に強い勢力で華中に上陸した後、17日09時に熱帯低気圧に変わり、18日21時に華北で消滅した。

(8) 台風第14号(2414 PULASAN)

9月15日09時にマリアナ諸島近海で発生した熱帯低気圧は北へ進み、同日21時に同海域で台風第14号となり、17日09時に小笠原諸島近海で最大勢力となった。その後北西へ進み、18日21時過ぎに沖縄本島を通過し、19日21時頃に華中に上陸した。上陸後進路を北東へ変え、20日21時頃に黄海へ進み、21日15時までに温帯低気圧に変わった。その後も北東へ進み、22日09時頃に北陸地方から東北地方を通過し、アリューシャンの南で25日03時までに東経180度を越えた。

(9) 台風第16号(2416 CIMARON)

9月23日15時に奄美大島の北で発生した熱帯低気圧は、南東へ進んだ後東へ進み、24日15時に日本の南で台風第16号となった。台風は同日21時に最大勢力となり、反時計回りに動いた後、西へ進み、26日15時に同海域で熱帯低気圧に変わった。その後進路を北東へ変え、28日03時までに同海域で温帯低気圧に変わった。次第に進路を東へ変え、29日03時までに日本の東へ進んだ。その後、29日09時頃に同海域で進路を反転して西へ進み、30日21時に日本の南で消滅した。

(10) 台風第17号(2417 JEBI)

9月26日03時にマリアナ諸島近海で発生した熱帯低気圧は北西へ進み、27日09時に同海域で台風第17号となった。小笠原諸島付近で次第に進路を北に変え、10月1日09時に日本の東で最大勢力となった。その後北東へ進み、2日21時までに千島近海で温帯低気圧に変わり、3日09時にカムチャツカの東で消滅した。

(11) 台風第18号(2418 KRATHON)

9月26日21時に沖縄の南で発生した熱帯低気圧は南西へ進み、28日09時にフィリピンの東で台風第18号となった。その後北西へ進んだ後、西へ進み、10月1日09時に南シナ海で最大勢力となった。次第に進路を北へ変え、3日15時までに台湾に上陸した後、3日21時に熱帯低気圧に変わり、4日03時に消滅した。

(12) 台風第21号(2421 KONG-REY)

10月24日09時にトラック諸島近海で発生した熱帯低気圧は、25日03時にマリアナ諸島近海で台風第21号と

なり、西へ進んで、フィリピンの東で進路を北西に変えた後、30日09時に同海域で最大勢力となった。台風は31日15時頃に強い勢力で台湾に上陸し、急速に勢力を弱めた。その後台湾海峡へ進んで、進路を次第に北東へ変えて進み、11月1日21時までに東シナ海で温帯低気圧に変わった。その後東へ進み、2日15時に同海域で消滅した。

(13) 台風第25号(2425 USAGI)

11月9日09時にトラック諸島近海で発生した熱帯低気圧は、北西へ進み、12日03時にフィリピンの東で台風第25号となった後、急速に発達して14日09時に同海域で最大勢力となった。その後、北西の進路を維持したまま、14日15時頃に非常に強い勢力でルソン島の北部を通過し、急速に勢力を弱めた。台風は次第に進路を北へ変え、16日09時に台湾の南で熱帯低気圧に変わった。その後台湾の南部付近でほとんど停滞し、17日03時に消滅した。

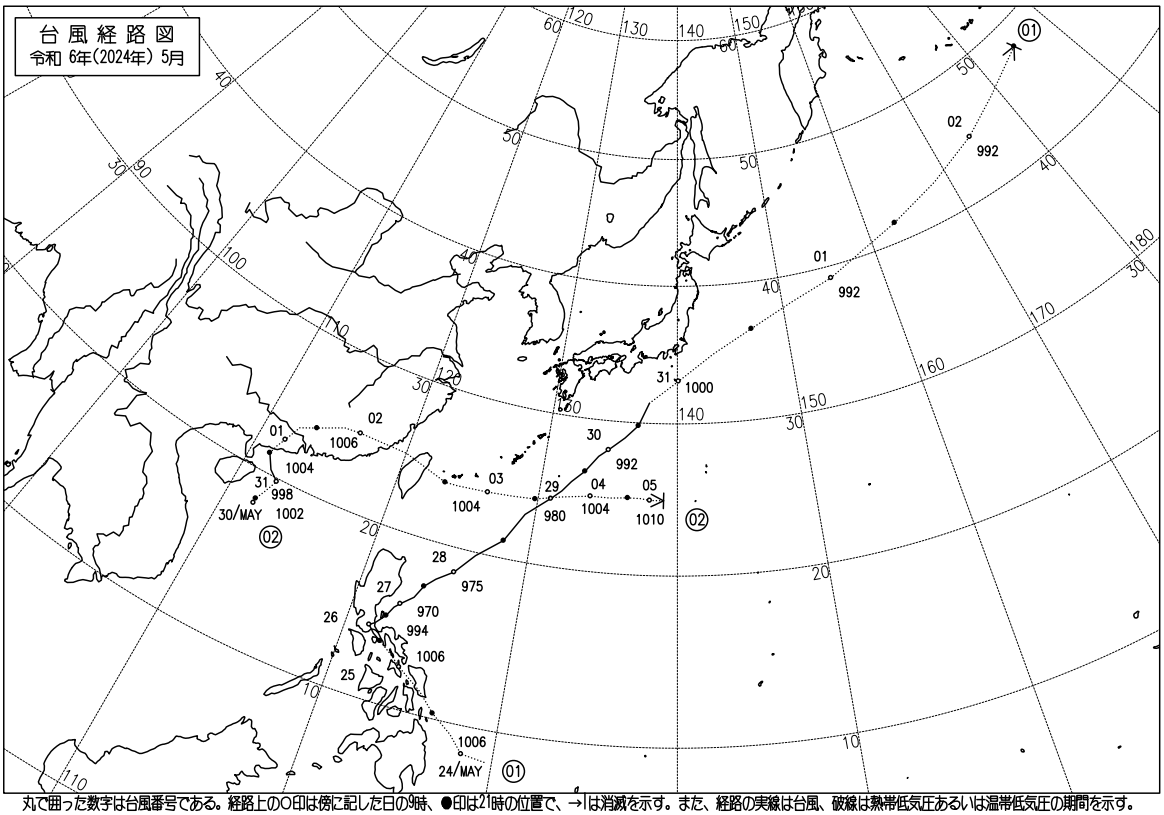
資料2-2-1　令和6年（2024年）に日本に影響した台風の概要表（熱帯低気圧、温帯低気圧の期間は除く）

台風番号	日本への影響（台風の中心が日本から概ね500km以内に入った場合）			日本への接近（台風の中心が日本から概ね300km以内に入った場合）			上陸、通過
	月日		地　域	月日		地　域	
	始	終		始	終		
1	5/28	5/31	沖縄・奄美、九州南部、四国地方、近畿地方、東海地方、関東地方、甲信地方、伊豆諸島、小笠原諸島	5/29	5/30	沖縄地方	上陸、通過なし。
3	7/23	7/26	沖縄地方	7/23	7/25	沖縄地方	上陸、通過なし。
5	8/8	8/12	東日本、北日本	8/8	8/12	北陸地方、関東地方、甲信地方、伊豆諸島、小笠原諸島、北日本	12日08時半頃、岩手県大船渡市付近に上陸した。
7	8/13	8/17	近畿地方、東日本、東北地方	8/14	8/17	東海地方、関東地方、甲信地方、伊豆諸島、小笠原諸島、東北地方	上陸、通過なし。
9	8/18	8/21	沖縄・奄美、九州南部、九州北部地方	8/18	8/20	沖縄・奄美、九州北部地方	上陸、通過なし。
10	8/25	8/30	沖縄・奄美、西日本、東日本	8/26	8/30	沖縄・奄美、西日本、東海地方	29日08時頃、鹿児島県薩摩川内市付近に上陸した。
13	9/13	9/15	沖縄・奄美、九州南部、九州北部地方	9/13	9/15	沖縄・奄美、九州南部	上陸、通過なし。
14	9/18	9/21	沖縄・奄美、九州南部、九州北部地方	9/18	9/19	沖縄・奄美	上陸、通過なし。
16	9/24	9/26	沖縄・奄美、九州南部、九州北部地方	9/25	9/26	沖縄・奄美、九州南部	上陸、通過なし。
17	9/29	10/2	東日本、北日本	9/30	10/2	東海地方、関東地方、甲信地方、伊豆諸島、小笠原諸島、東北地方	上陸、通過なし。
18	9/30	10/3	沖縄地方				上陸、通過なし。
21	10/30	11/1	沖縄地方	10/31	11/1	沖縄地方	上陸、通過なし。
25	11/15	11/16	沖縄地方				上陸、通過なし。

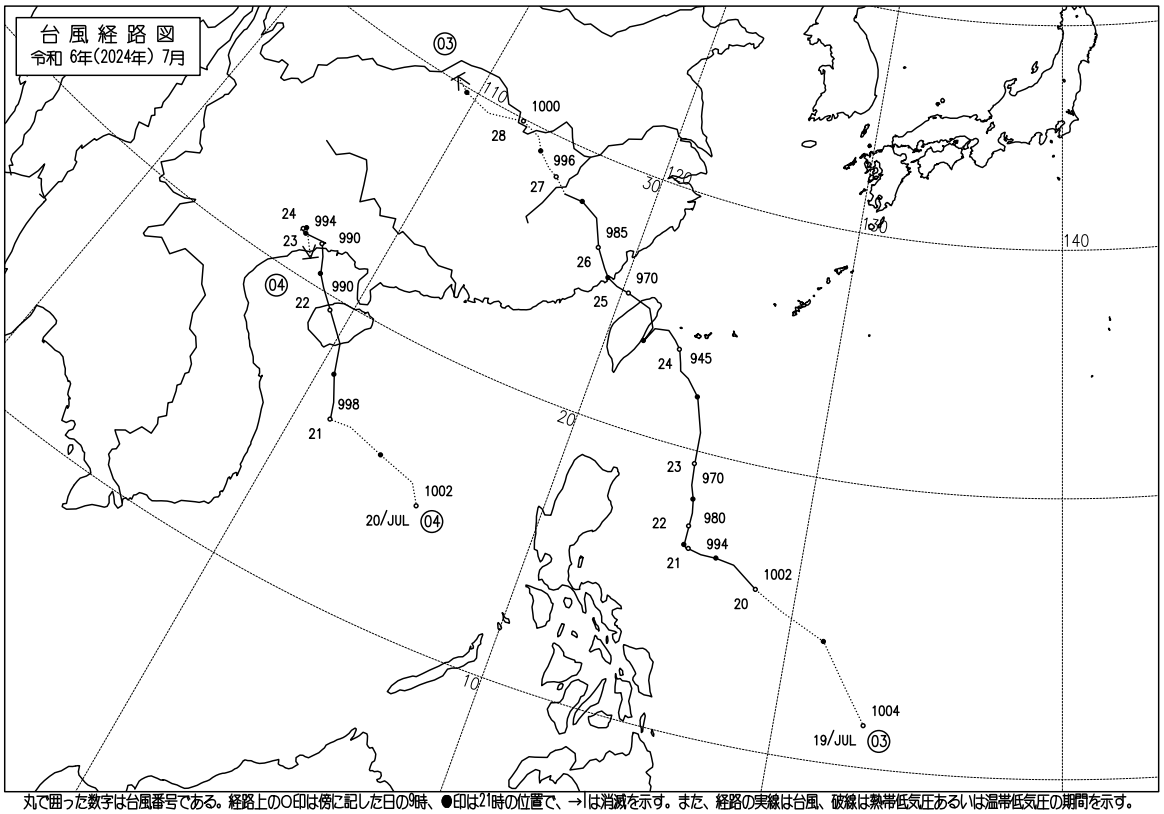
台風の中心がそれぞれの地域のいずれかの気象官署等から500km以内に入った場合を「日本に影響した台風」とした。
台風の中心がそれぞれの地域のいずれかの気象官署等から300km以内に入った場合を「日本に接近した台風」とした。

資料 2-2-2　令和 6 年(2024 年)に発生した台風の経路図（月別）

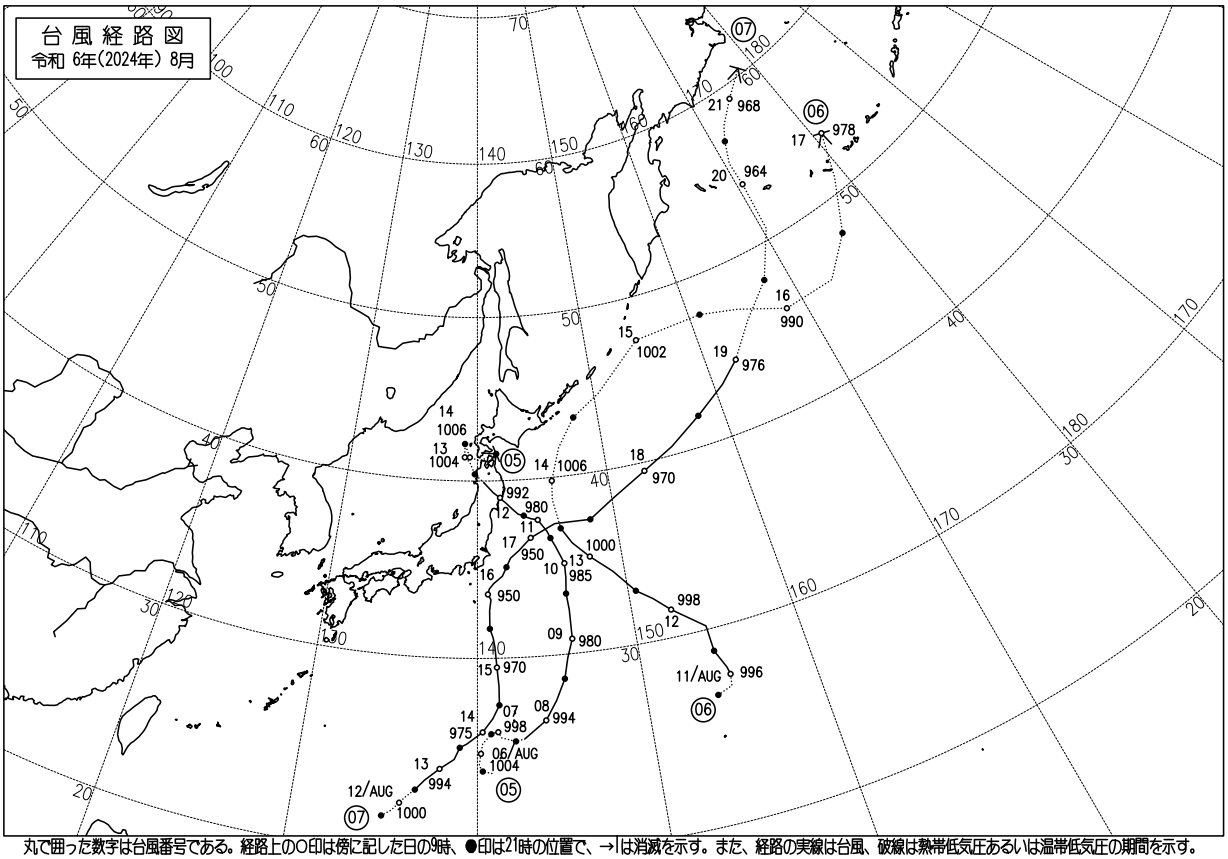
※ 1 月、2 月、3 月、4 月及び 6 月は台風の発生がなかったため掲載していない。
8 月、9 月及び 11 月は 2 枚に分けて掲載している。



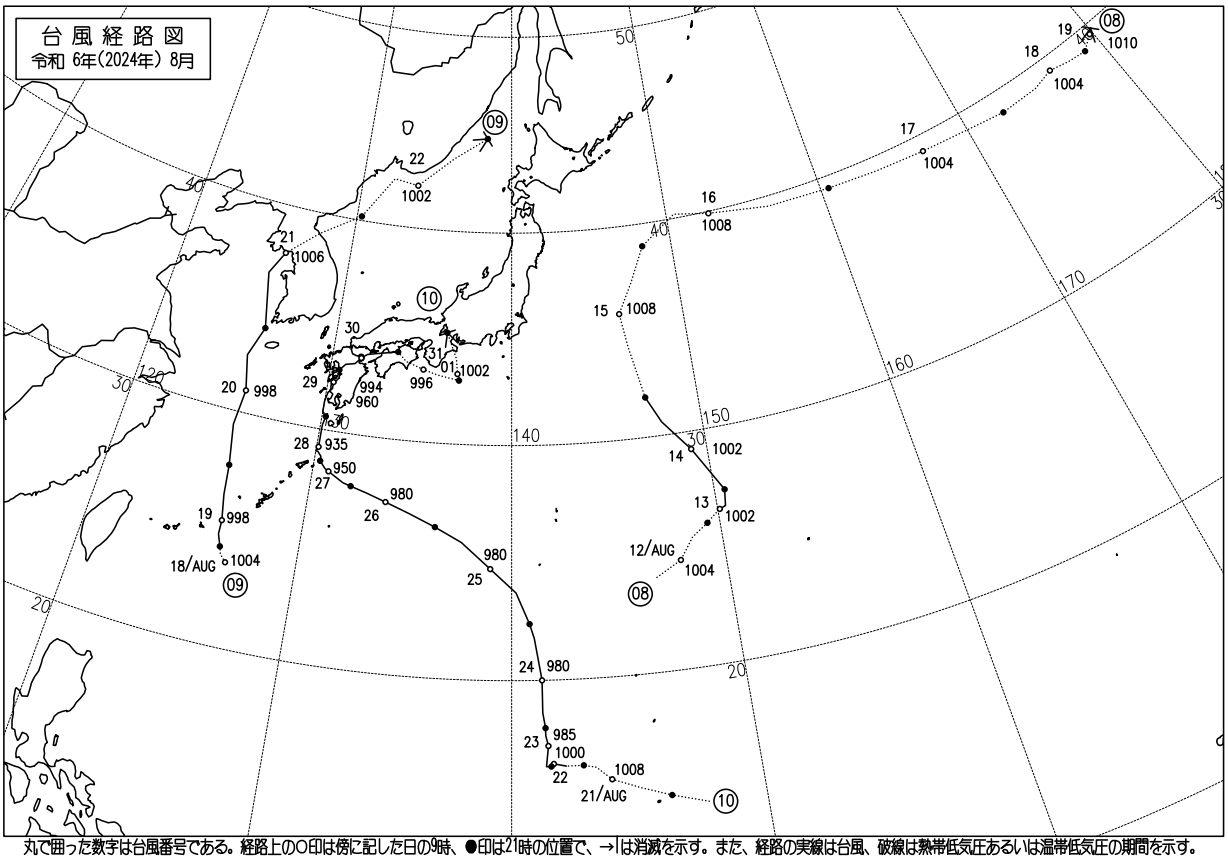
丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→Ｉは消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。



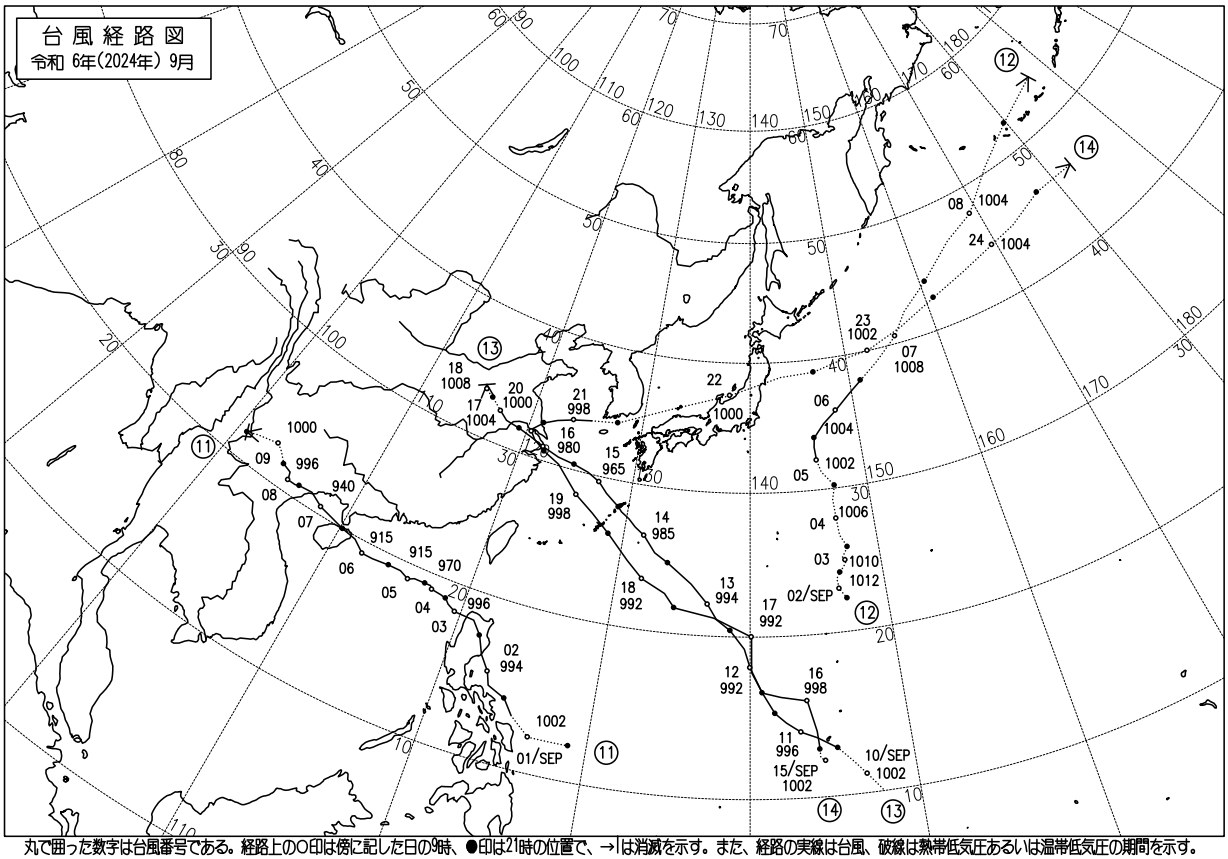
丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→Ｉは消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。



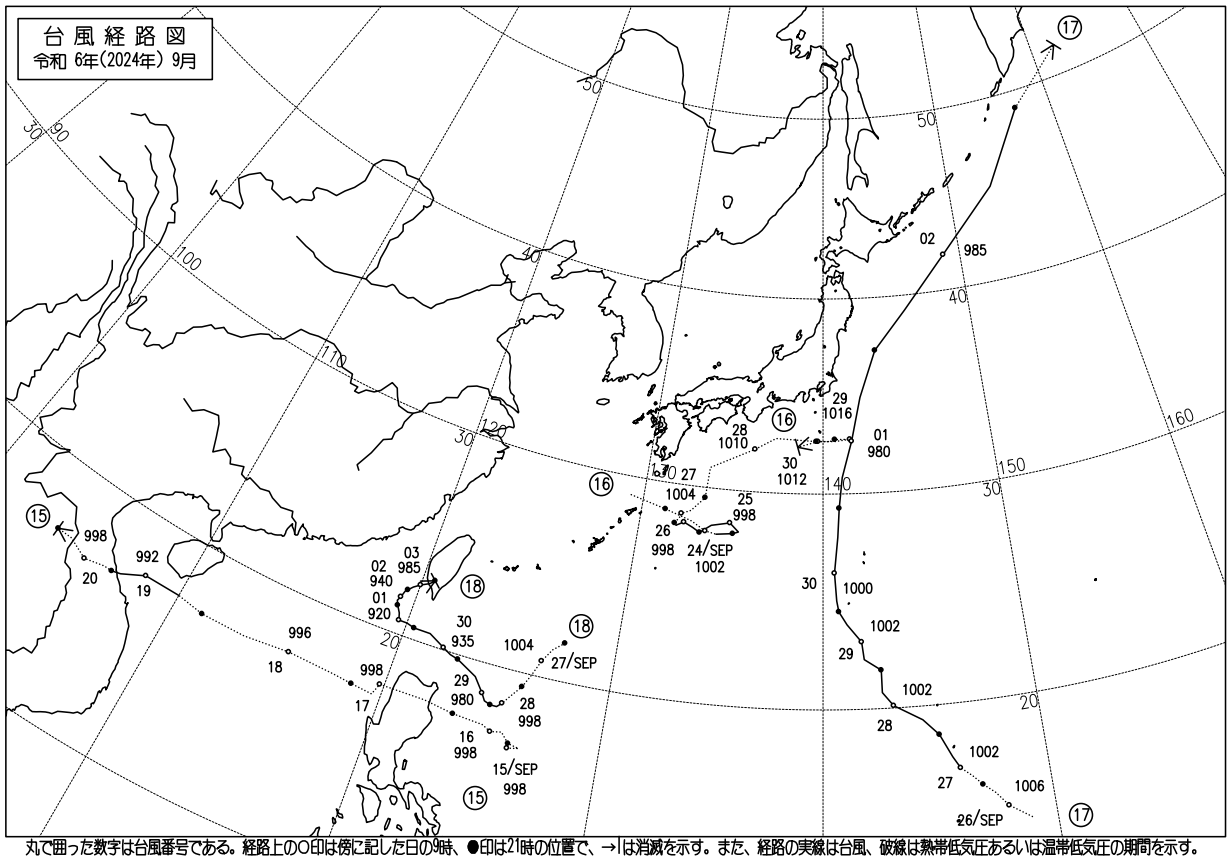
丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。



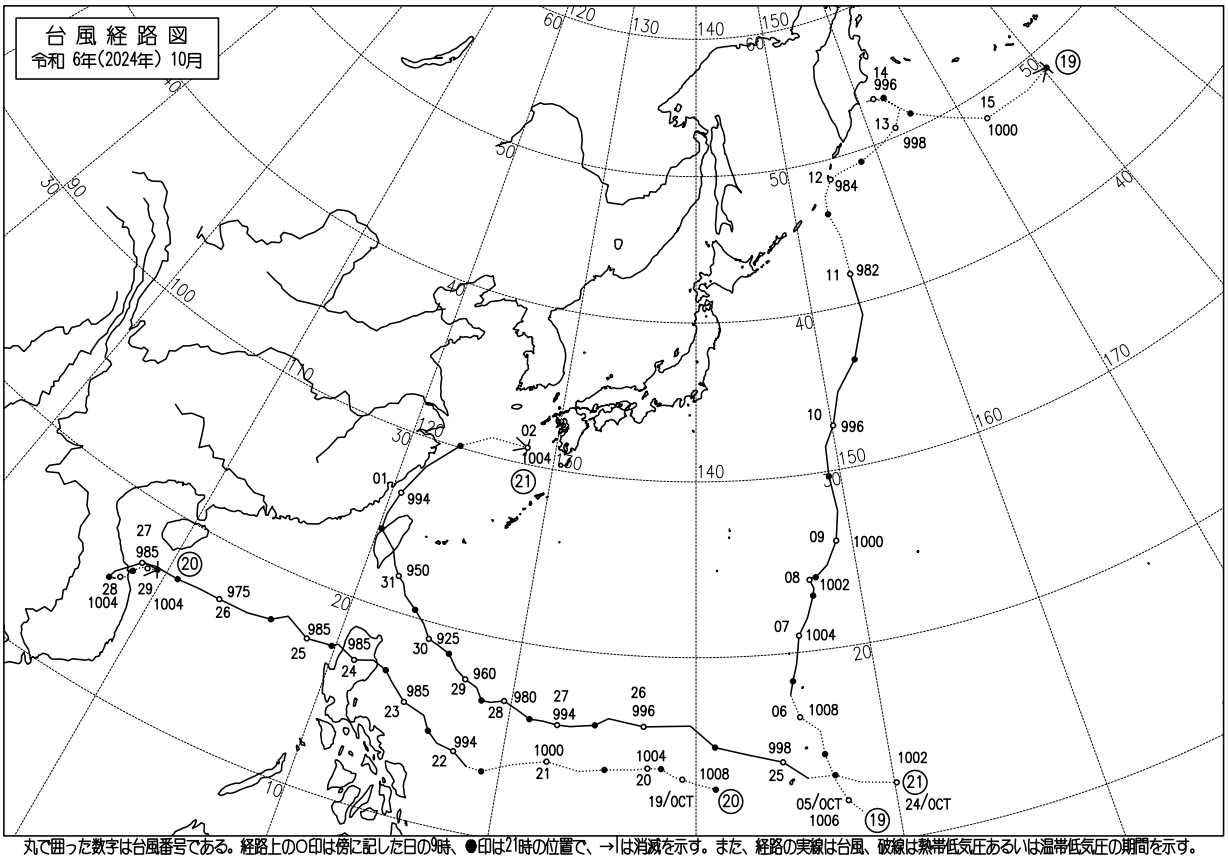
丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。



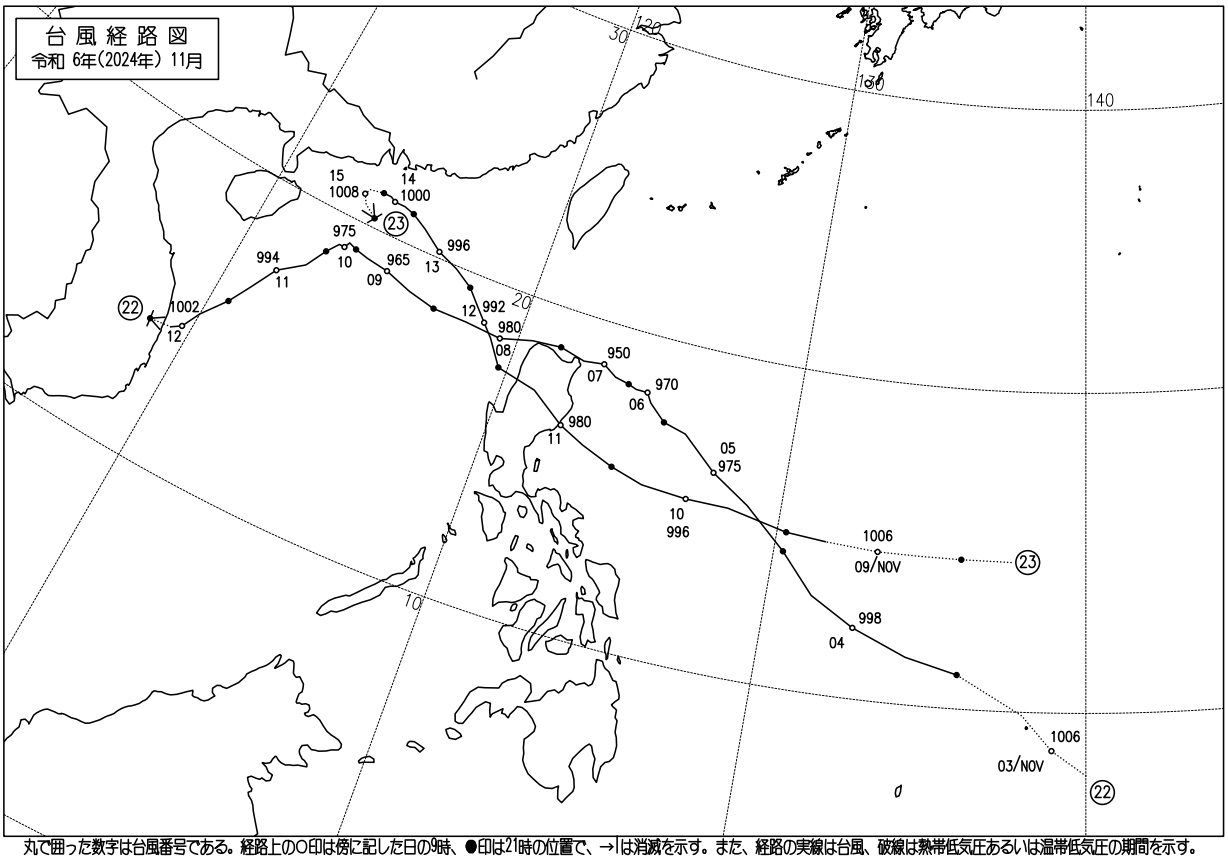
丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。



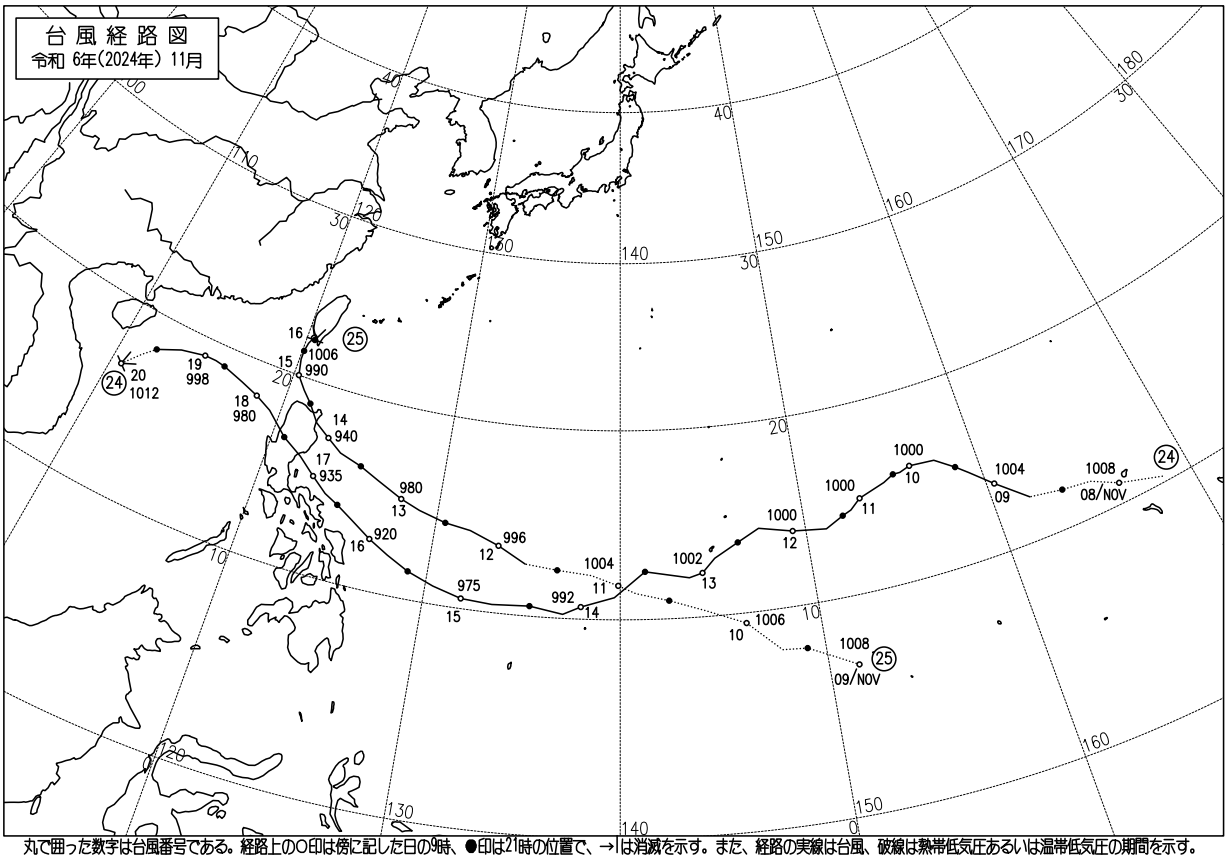
丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。



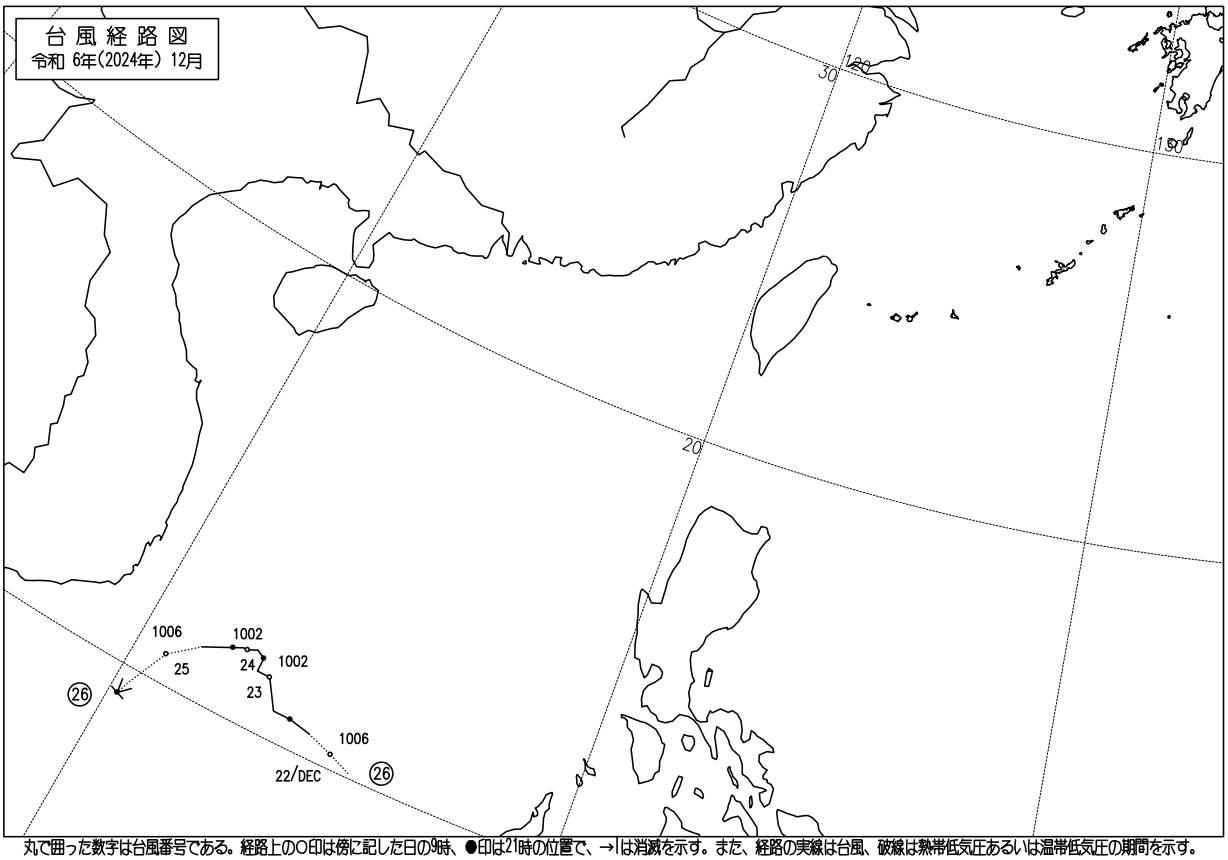
丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。



丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。



丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。



丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。